

# 東海東京フィナンシャル・ホールディングス 会社説明会

代表取締役会長  
石田 建昭

2022年3月9日

未来をつなぐ、心をむすぶ。

# 目次

---

I. 当社グループの概要	2	VI. 4つの未来戦略	29
II. 株価推移と今後の見通し	4	VII. 当社グループの変遷	43
III. 当社グループの業績推移	7	VIII. 経営計画「New Age's Flag Bearer5 ～新時代の旗手」を目指して	45
IV. 証券業界を取り巻くビジネス環境 ～8つの脅威	13	IX. SDGsへの取り組み	48
V. ビジネス環境の変化への対応	15	X. 株主還元	53
		XI. 新中期経営計画へ向かって	56

\*この資料で使用する数字は、特に記載のない限り、連結に関する数字を使用しております。

---

# Ⅰ.当社グループの概要

# I. 当社グループの概要

## 東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社

- 上場 東証1部・名証1部  
(証券コード 8616)
- 純資産 1,846億円
- 預かり資産 82,414億円 (グループ全体)  
56,661億円 (東海東京証券)
- 時価総額 1,070億円\*
- 従業員数 2,999人 (グループ全体\*\*)
- 証券店舗数 60店舗 (東海東京証券)  
10店舗 (エース証券)  
7店舗 (丸八証券)  
66拠点 (提携合併証券)

(2021年12月末現在)

\* 2022年3月1日現在

\*\* 投資アドバイザー、アセットアドバイザー、  
臨時社員、派遣社員を除く

地銀戦略  
提携合併証券7社

東海地域での  
ブランド力

ハイレベルな  
トレーディング力



**TTFG**  
の強み

富裕層ビジネス

教育体制の  
充実

デジタル化  
の推進

多様な  
ビジネスポートフォリオ

---

## II. 株価推移と今後の見通し

# II. 株価推移と今後の見通し

## 難しい時代の到来



写真：AP/アフロ



写真：代表撮影/ロイター/アフロ



写真：AFP/アフロ



写真：代表撮影/AP/アフロ

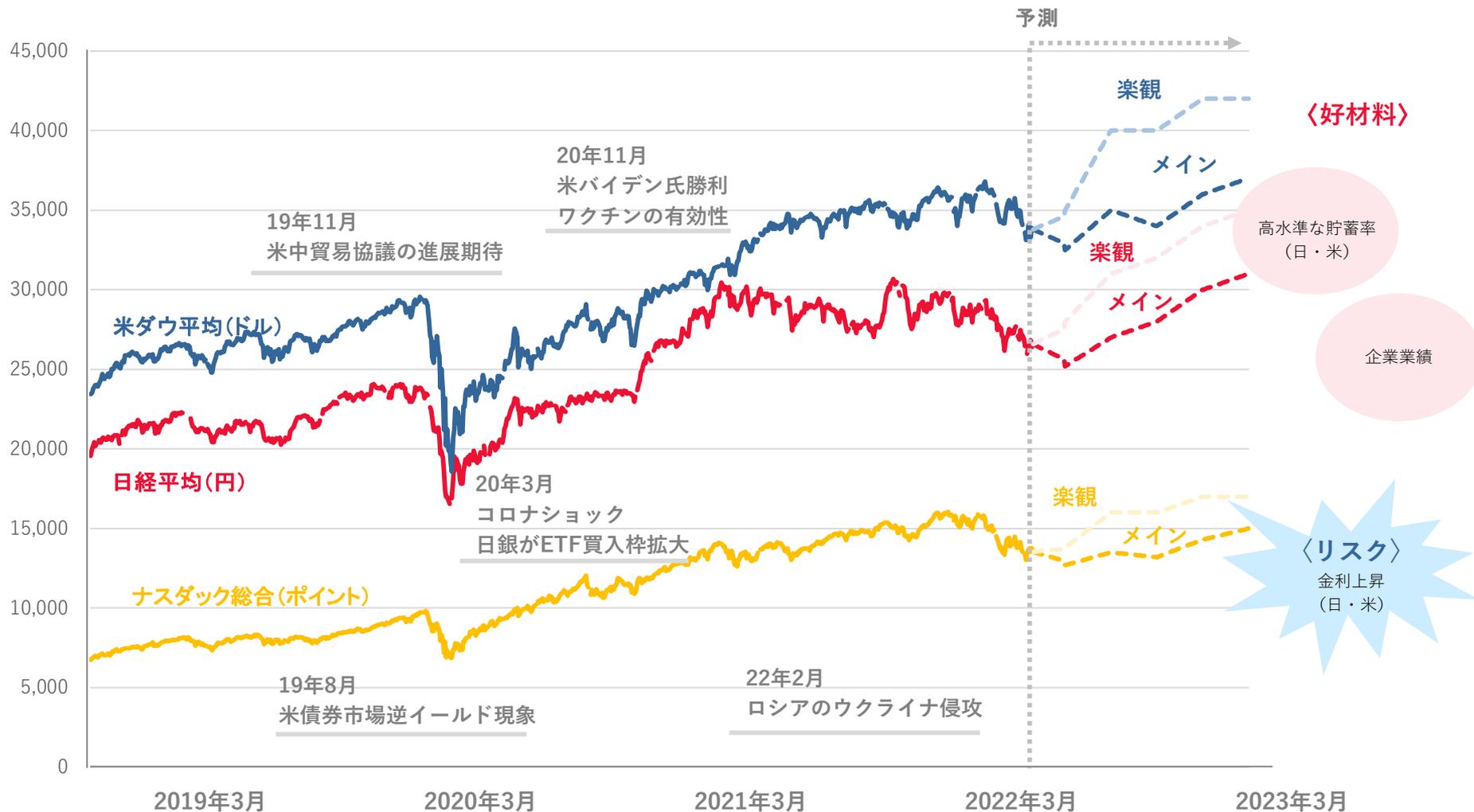


- ・ 財政支出 (コロナ対策)
- ・ 原油価格 (グリーンフィケーション)
- ・ 労働需給
- ・ サプライチェーン

# II. 株価推移と今後の見通し

## 難しい時代の到来

### 日・米の主要株価指数の推移と見通し

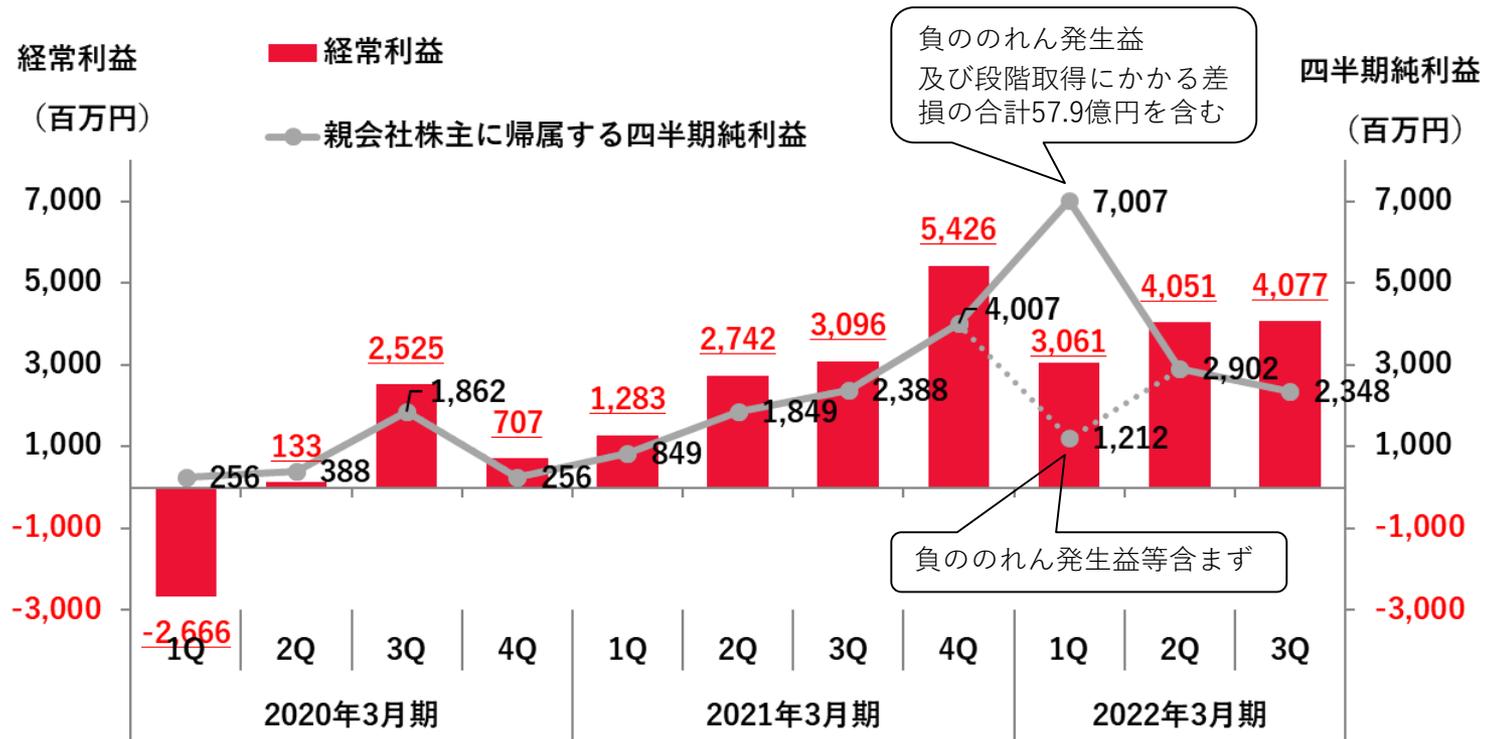


---

## III. 当社グループの業績推移

# III. 当社グループの業績推移

## 四半期ごと業績推移（2020年3月期～2022年3月期第3四半期）



(百万円)

	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			2021年 3月期 3Q累計	2022年 3月期 3Q累計	前四半期比 2022年3月期 2Q=100	前年同期比 2021年3月期 3Q累計=100
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q				
経常利益	-2,666	133	2,525	707	1,283	2,742	3,096	5,426	3,061	4,051	4,077	7,121	11,190	101	157

# III. 当社グループの業績推移

## TTFG業績の総括（経常利益の推移）

T T F G

東海東京証券

### 好調な個人営業部門業績

- ・ ウェルスマネジメント部門の進展
- ・ リテール部門の堅調
- ・ IFA・マルチの業績拡大

### 堅調なマーケット・法人部門

- ・ ポジション収益の回復
- ・ 法人ビジネスの広がり
- ・ JV等のフロー拡大

投資銀行部門の業績回復

提携合併証券の復活

エース・丸八の業績貢献

出資・関係会社の  
業績回復

# III. 当社グループの業績推移 業績の状況

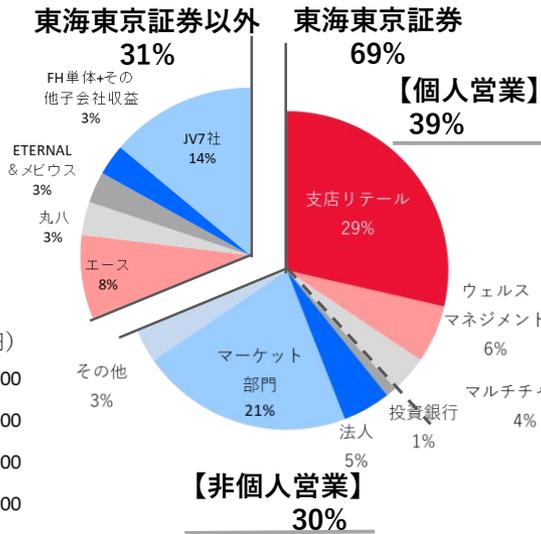
(百万円) ウェルスマネジメント部門の進展 (営業収益)



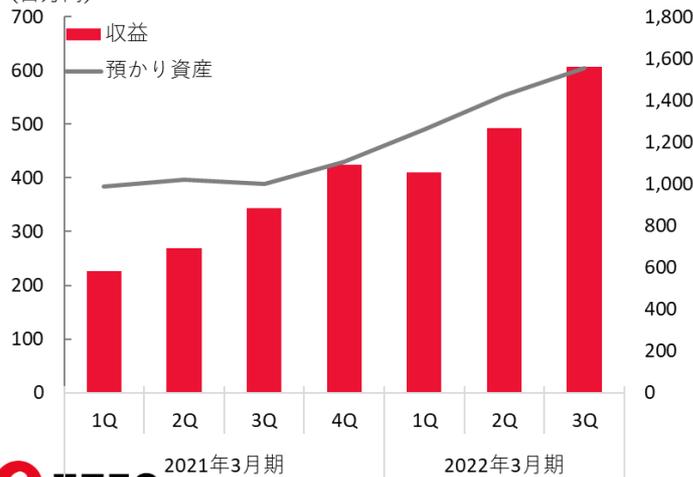
(百万円) リテール部門の堅調 (営業収益)



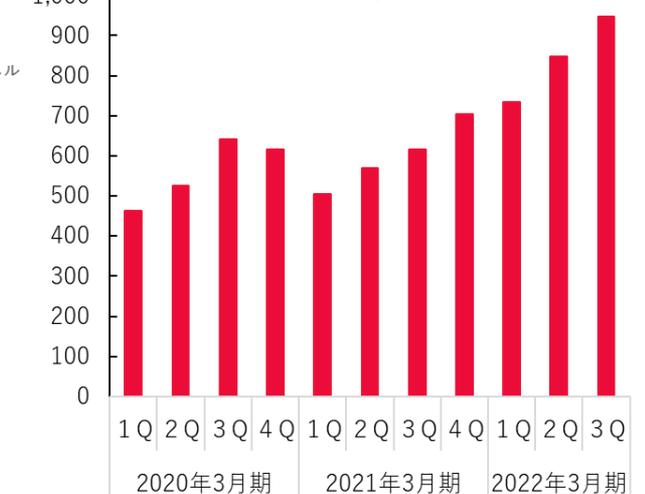
< 2022年3月期 (3Q)  
連結営業収益 21,528百万円 >



(百万円) IFA部門の収益・預かり資産推移

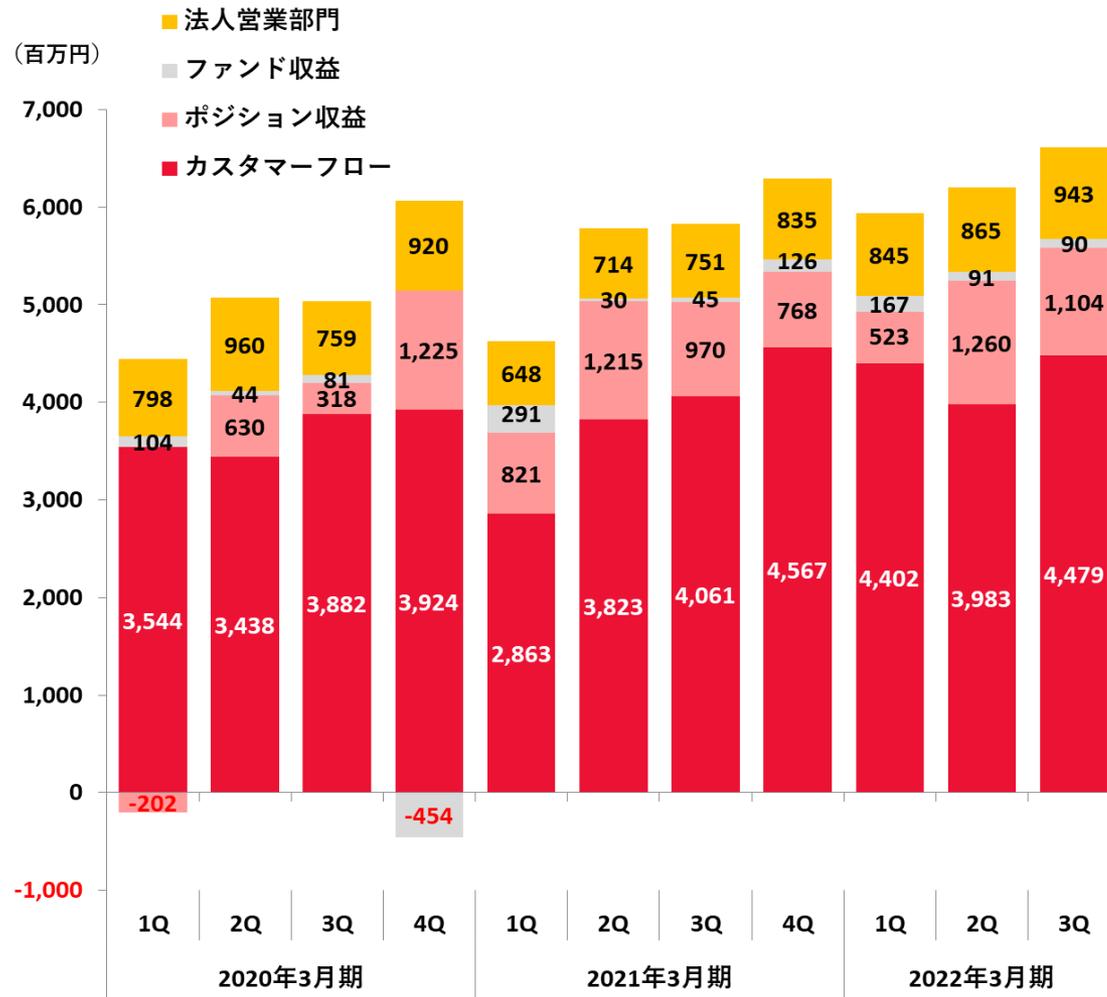


(百万円) マルチチャネル部門の収益推移

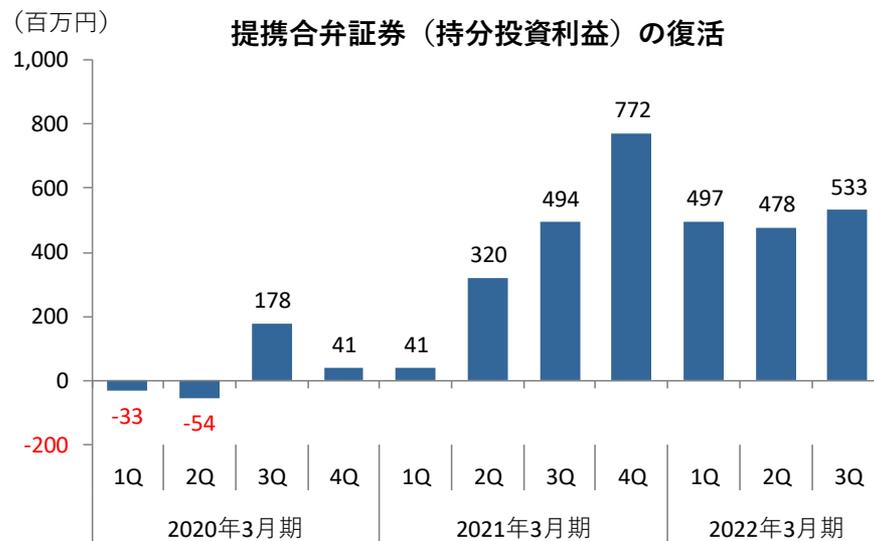


# Ⅲ. 当社グループの業績推移 業績の状況

## (東海東京証券) グローバル・マーケットカンパニー収益構成 (管理収益ベース)



# III. 当社グループの業績推移



## グループ各社の損益推移（東海東京証券、JV証券除く）

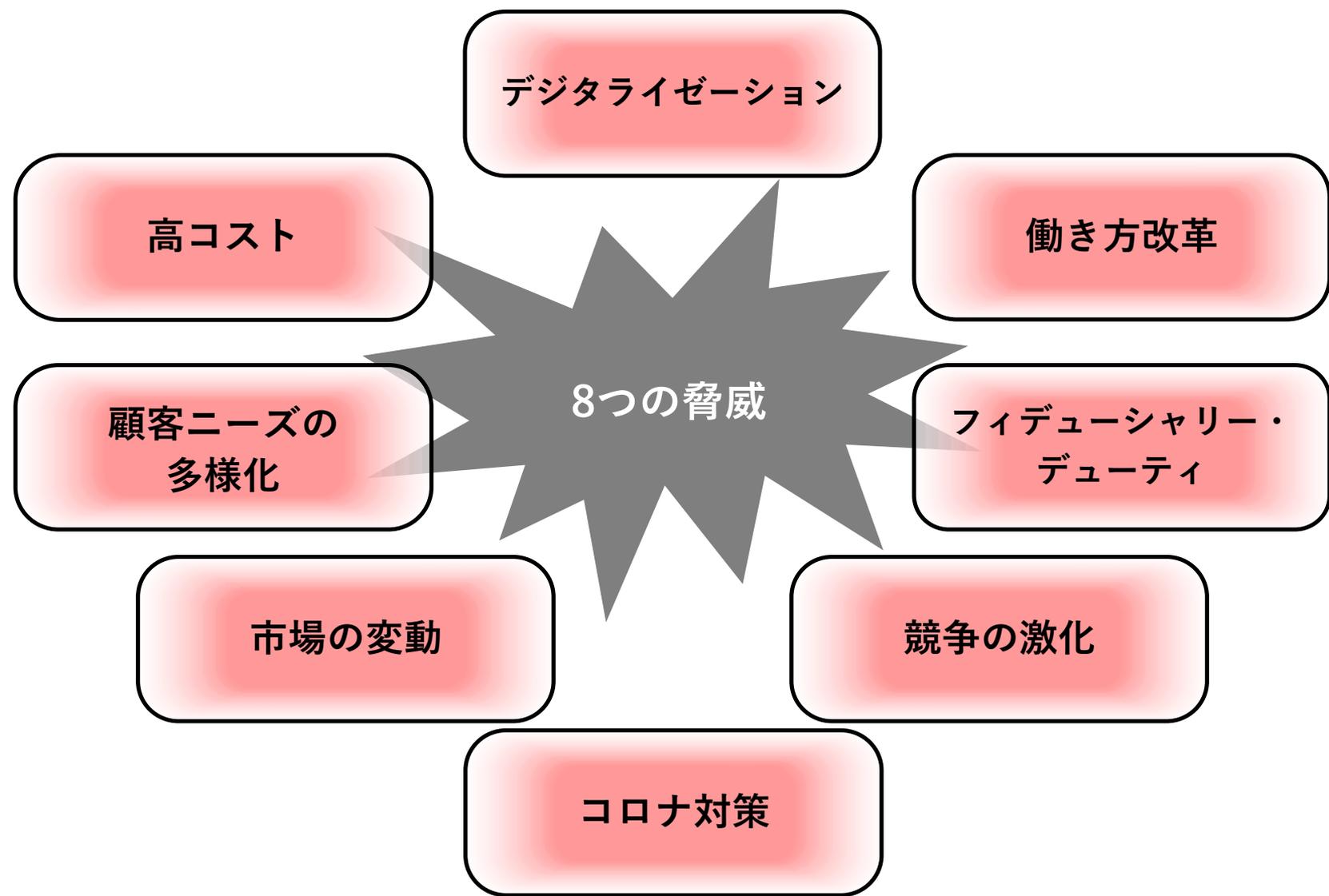
各社の損益状況 (百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
東海東京グローバル・インベストメンツ	25	169	426	-394	1,135	591	804	894	262	162	84
エース証券	連結子会社前								299	404	305
丸八証券	連結子会社前								29	158	200
高木証券	-497	-397	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保険 (ETERNAL、メビウス)	-0	71	64	139	12	233	100	192	109	132	159
M&A (ピナクル、PTTS)	-5	36	-66	-59	360	-61	109	-64	-3	30	28
その他	-245	121	82	385	94	155	-282	462	-20	330	-427

---

# IV. 証券業界を取り巻くビジネス環境 ～8つの脅威

# IV. 証券業界を取り巻くビジネス環境

## ～8つの脅威



---

## V. ビジネス環境の変化への対応

## ビジネス環境の変化への対応

---

東海東京証券  
の  
収益力強化

新しい  
ビジネスモデルの  
創生

4つの未来戦略

# V. ビジネス環境の変化への対応

## 東海東京証券の収益力の強化

---

### 個人営業部門

-ウェルス・リテール-

### 市場・法人部門

-30億円プロジェクト-

### 投資銀行部門

-IPOビジネス拡大-

### 生産性革命

### 商品・サービス

-保険・ローン・  
財産診断-

### IFA

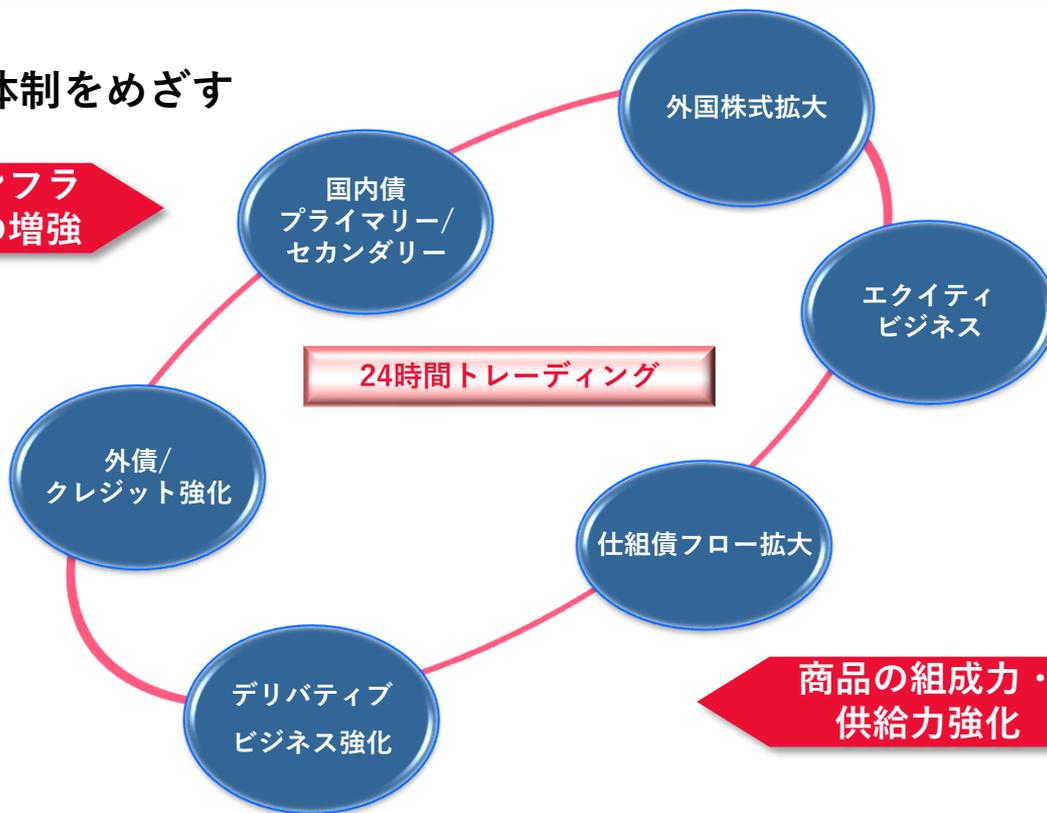
-ネットワーク拡大-

# V. ビジネス環境の変化への対応

## マーケット & 法人部門 -30億円プロジェクト-

月間営業収益30億円体制をめざす

ビジネスインフラ  
および人材の増強



商品の組成力・  
供給力強化

JV証券

地銀サポートプログラム

地銀系証券

地域  
金融機関

事業法人

トライラテラル戦略

ウェルス  
支店リテール

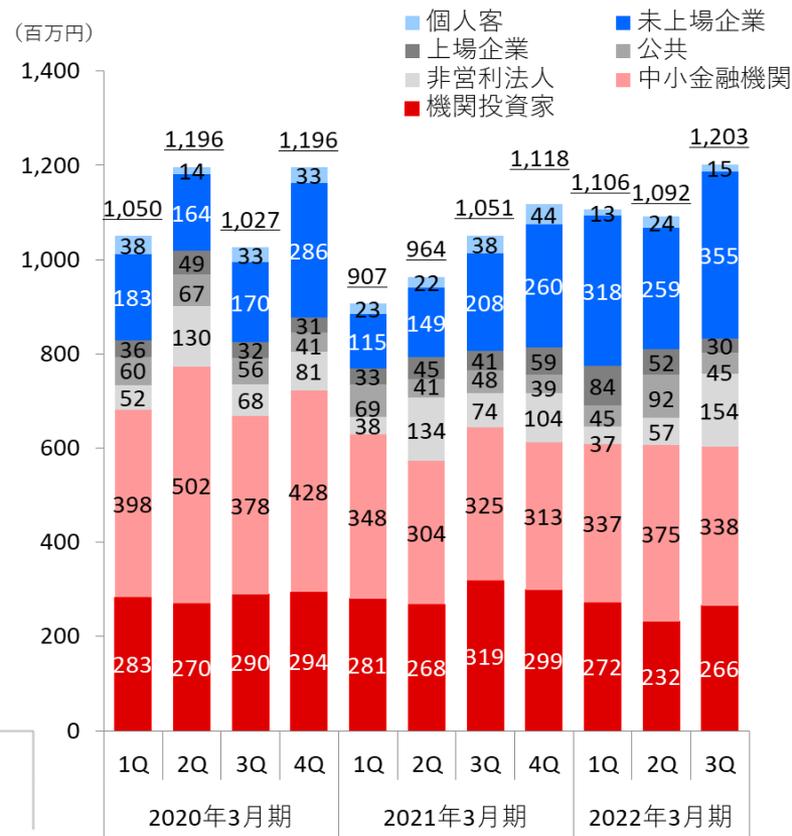
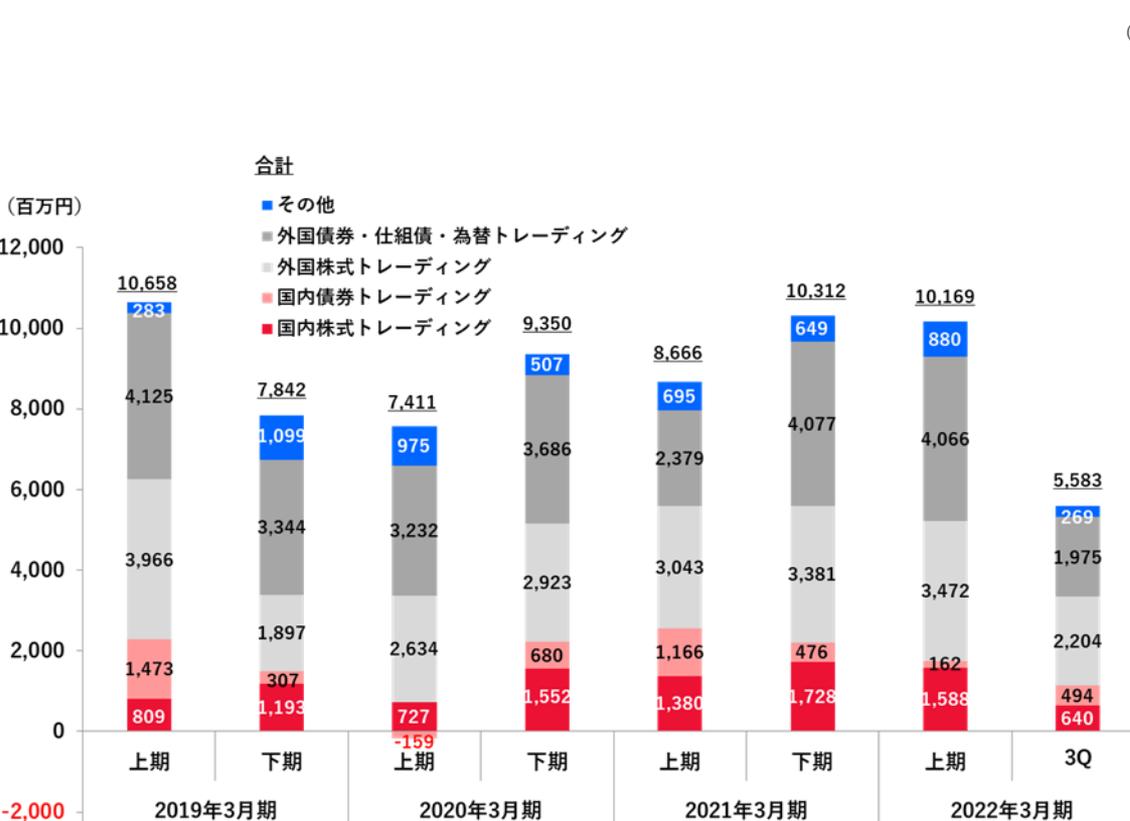
金融法人

# V. ビジネス環境の変化への対応

## マーケット & 法人部門 -30億円プロジェクト-

### マーケット部門 商品別収益推移

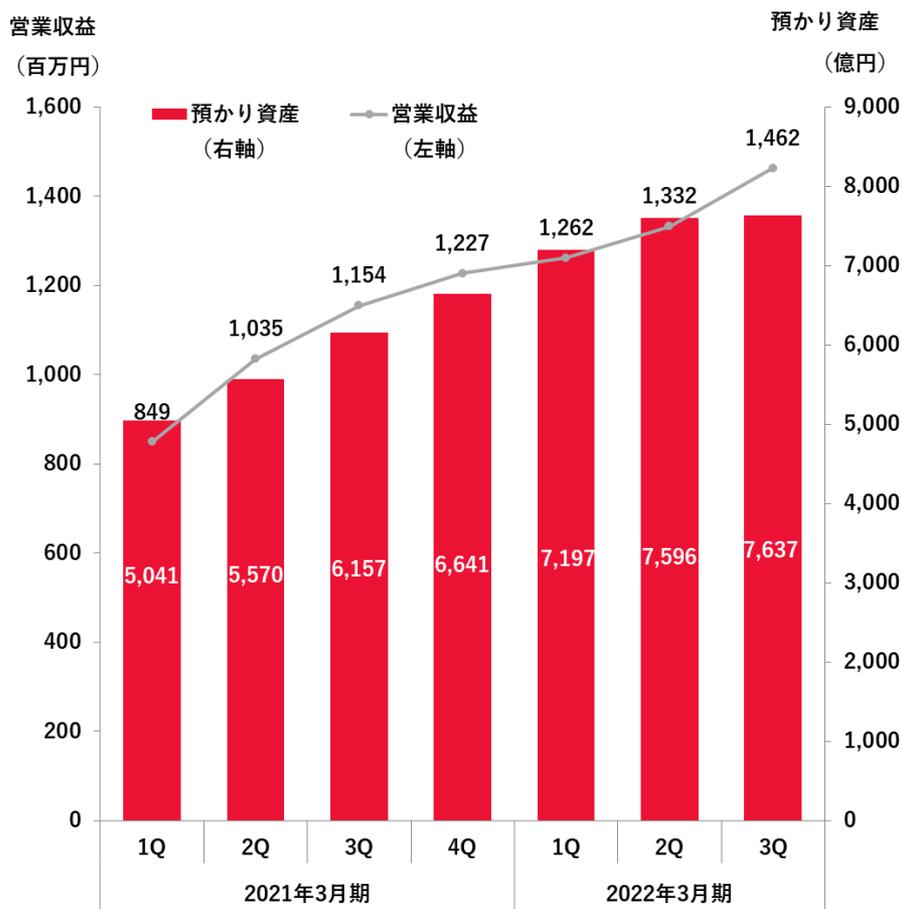
### 法人営業 顧客別収益推移



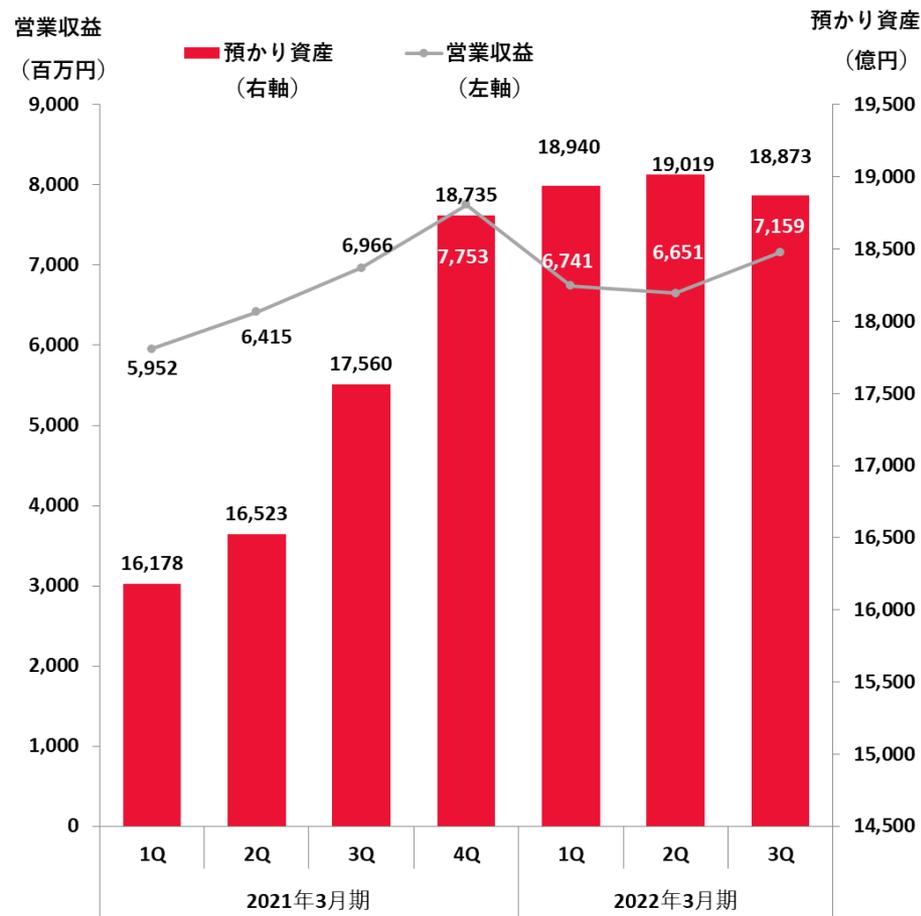
# V. ビジネス環境の変化への対応

## 東海東京証券の収益力の強化 個人営業部門

ウェルス部門/預かり資産・営業収益の推移  
2020年4月～2021年12月



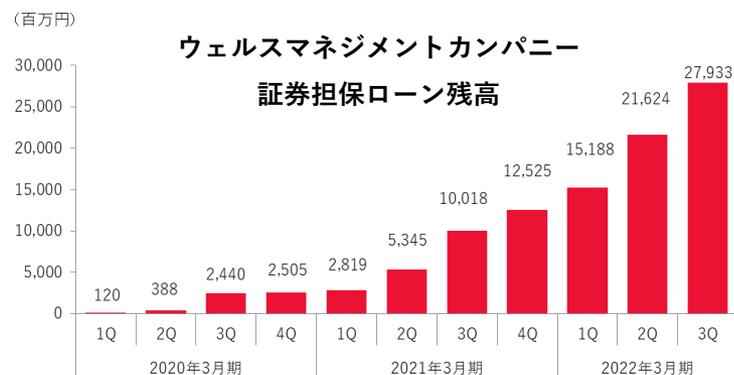
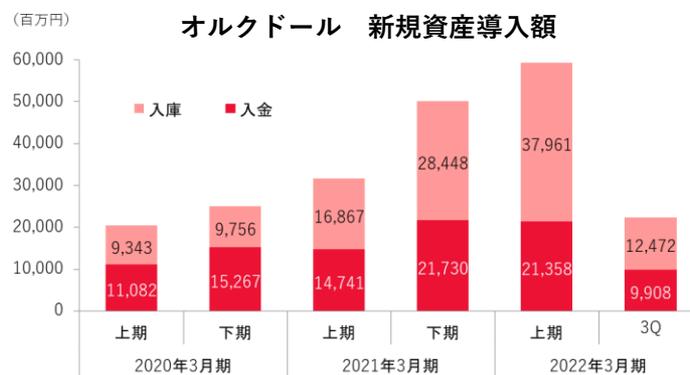
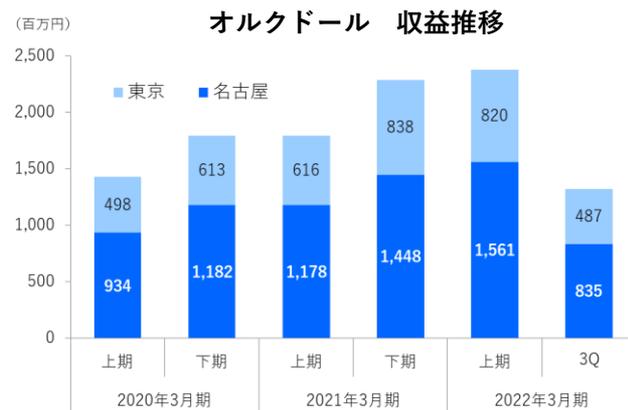
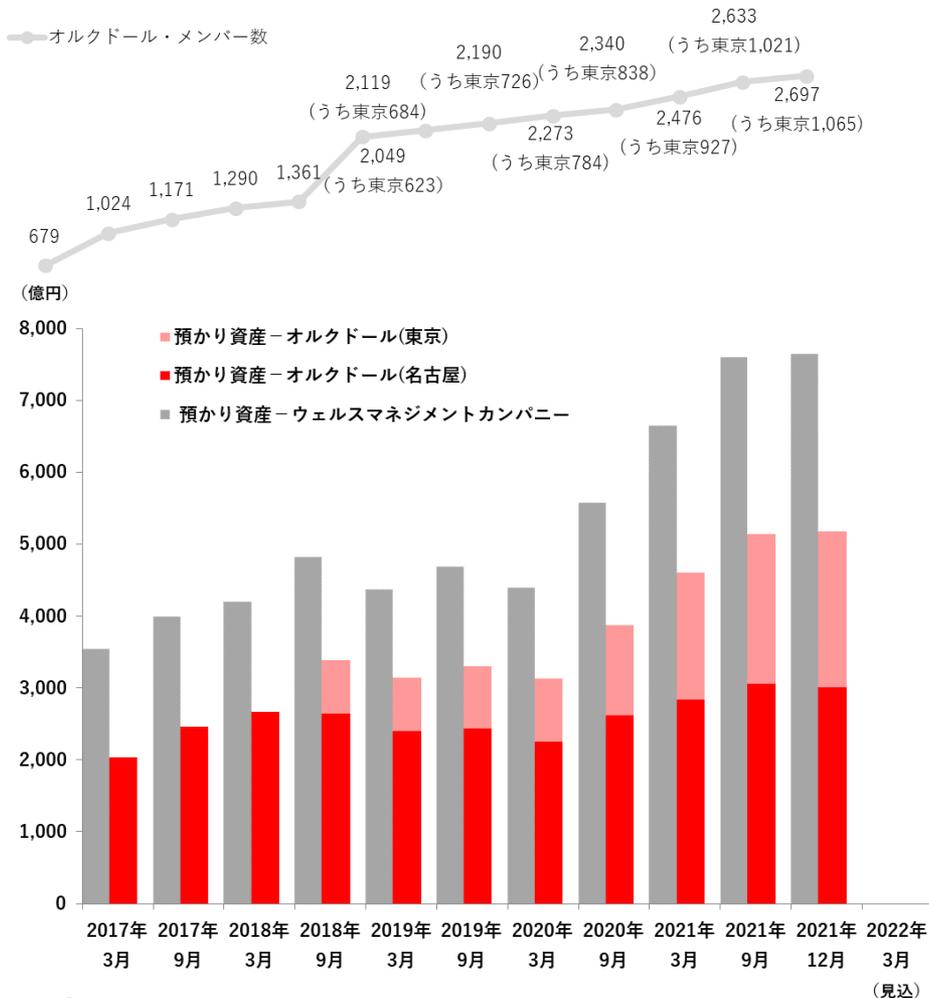
リテール部門/預かり資産・営業収益の推移  
2020年4月～2021年12月



# V. ビジネス環境の変化への対応

## 東海東京証券の収益力の強化 個人営業部門 ―ウェルス―

### オルクドールメンバー数・預かり資産



# V. ビジネス環境の変化への対応

## 東海東京証券の収益力の強化 投資銀行部門

### IPO引受件数ランキング推移

2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 3Q
9位	7位	8位	12位	7位

### IPO引受額ランキング 2021年4月～2021年12月

順位	引受会社	件数	金額 (百万円)	シェア (%)
1	SMBC日興証券	69	104,103	25.3
2	野村証券	54	92,348	22.4
3	大和証券	38	62,476	15.2
4	みずほ証券	68	60,306	14.6
5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	39	35,041	8.5
6	SBI証券	103	24,357	5.9
7	東海東京証券	28	7,985	1.9
8	いちよし証券	35	4,762	1.2
9	岡三証券	42	4,360	1.1
10	楽天証券	60	2,663	0.7

※キャピタルアイ・ニュースより弊社作成

### 地方債主幹事ランキング 2021年4月～2021年12月

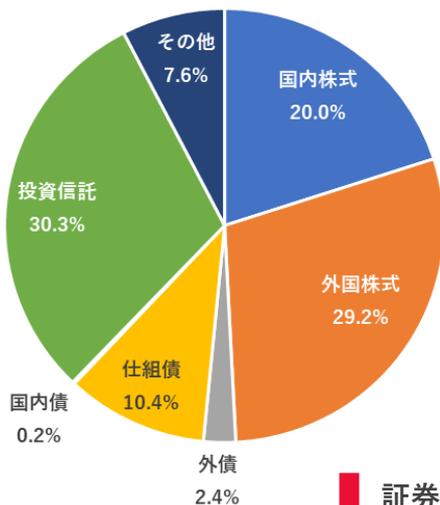
順位	引受会社	件数	金額 (百万円)	シェア (%)
1	野村証券	114	718,962	20.5
2	SMBC日興証券	99	610,882	17.4
3	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	104	589,487	16.8
4	みずほ証券	86	580,307	16.6
5	大和証券	91	557,062	15.9
6	東海東京証券	27	146,278	4.2
7	ゴールドマン・サックス証券	18	145,939	4.2
8	岡三証券	13	73,887	2.1
9	パークレイズ証券	6	40,900	1.2
10	しんきん証券	6	22,100	0.6

※Thomson Reuters より弊社作成

# V. ビジネス環境の変化への対応

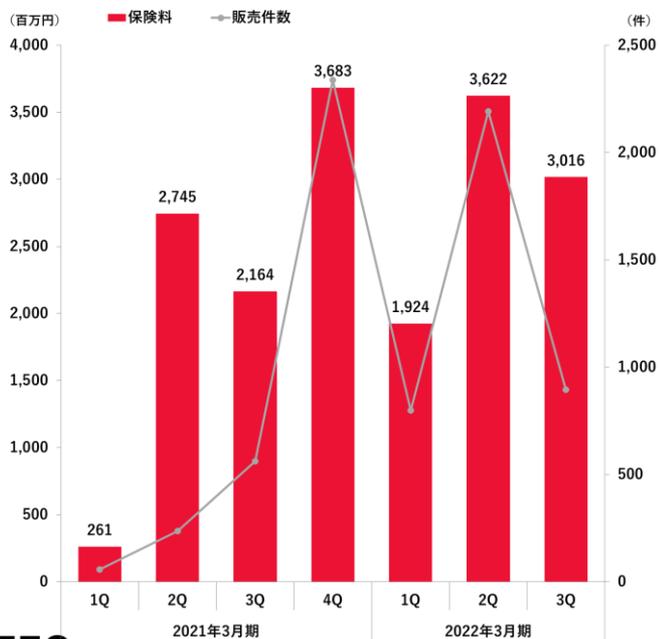
## 東海東京証券の収益力の強化 商品・サービス

東海東京証券リテール営業商品別収益内訳  
2022年3月期 1Q～3Q



保険販売実績の推移

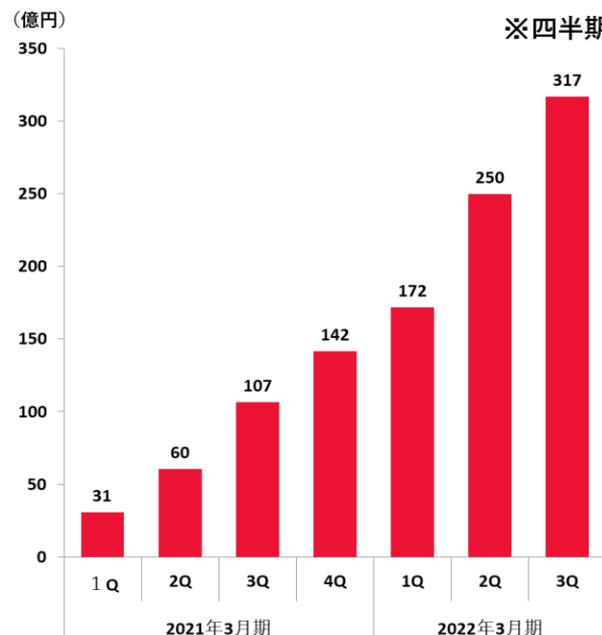
2020年10月～2021年12月



証券担保ローン融資残高の推移

2020年10月～2021年12月

※四半期末日残高

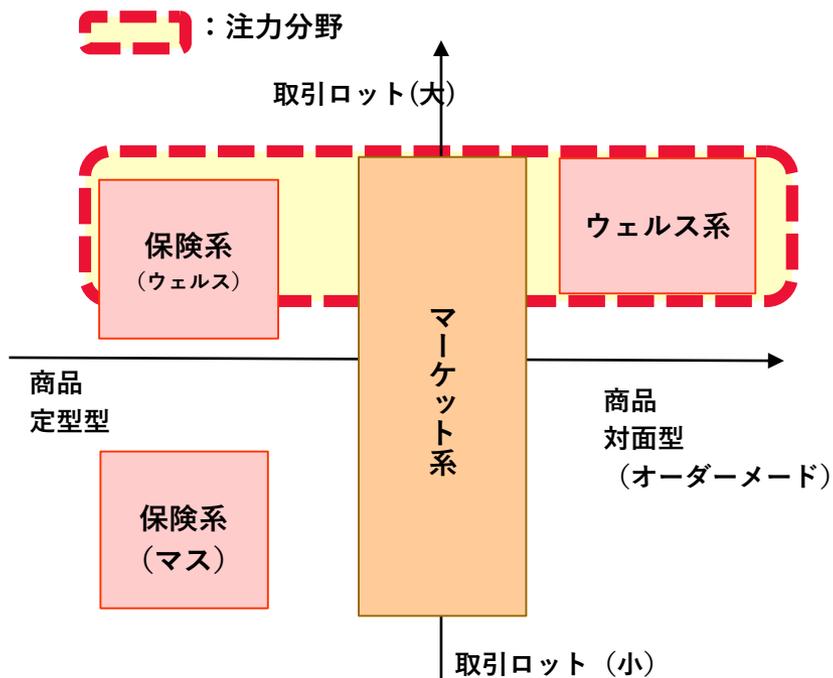


東海東京フィナンシャル・ホールディングス

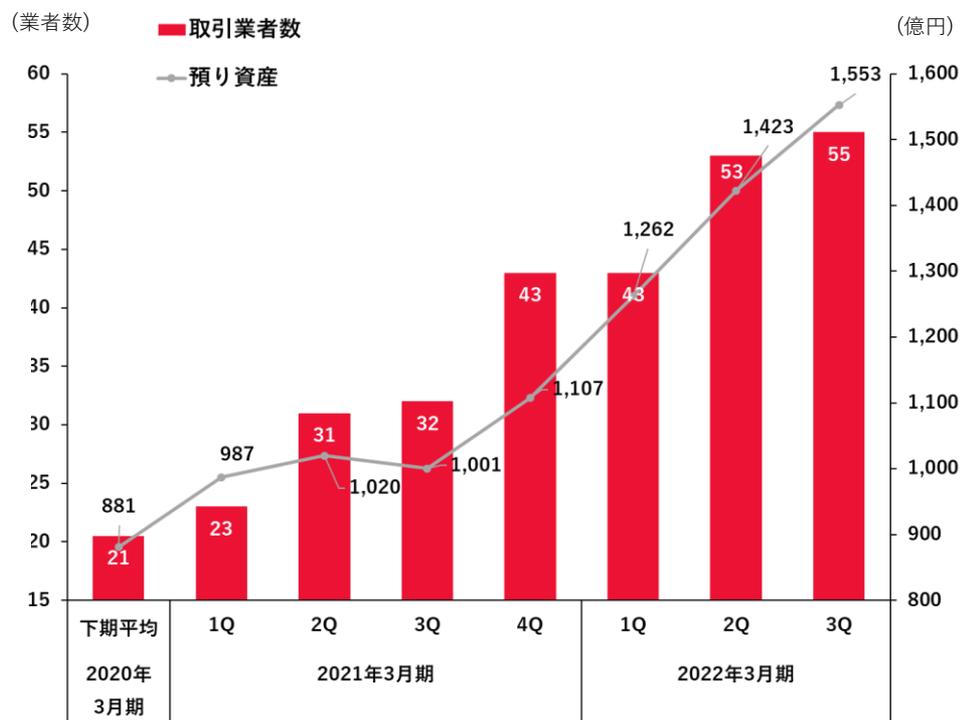
# V. ビジネス環境の変化への対応

## 東海東京証券の収益力の強化 IFA

### 東海東京証券の注力分野

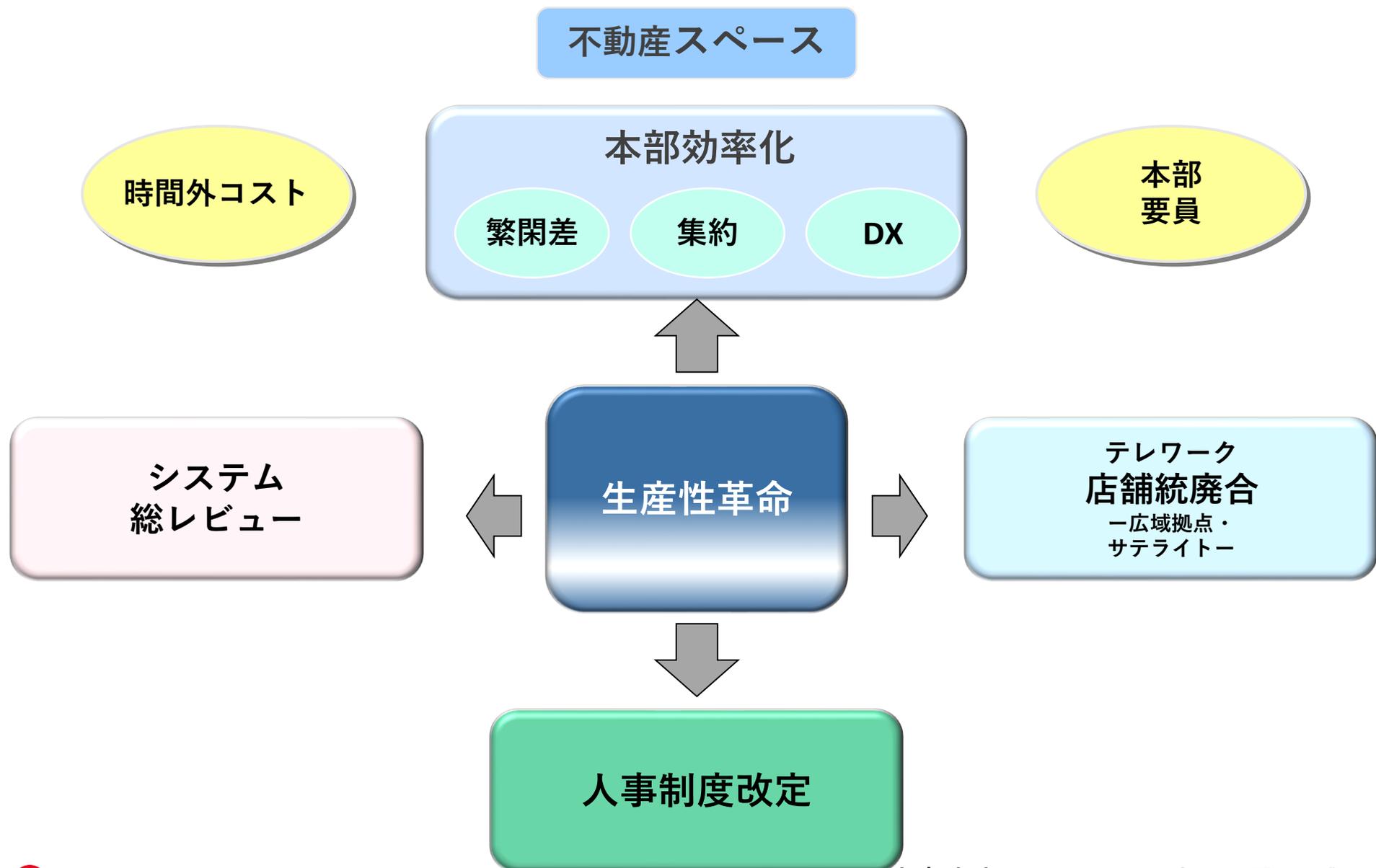


### 東海東京証券の 預かり残高、IFA業者数の推移



# V. ビジネス環境の変化への対応

## 東海東京証券の収益力の強化 生産性革命



# V. ビジネス環境の変化への対応

## 東海東京証券の収益力の強化 生産性革命

### 組織効率化

a

営業店総務課集約  
57人の営業部門等への異動

b

事務委託費削減  
外部委託費大幅削減  
▲1.6億円/年

c

保管書類の整理と廃棄  
(ペーパーレス推進)  
▲56百万円/年

d

車両コスト見直し  
▲69百万円/年

### 生産性革命

削減効果 7億円/年

(削減費用及び時間・人数の金額換算合計)

53,000時間/年の労働時間削減

### DX・ITの活用

1

目論見書オンデマンド化  
▲73百万円/年

2

RPAの導入  
繰り返し作業の自動化

3

電子ワークフローの導入  
各種申請書等のWeb化

4

Excelマクロの活用  
RPA/電子WFが不得意な  
部分をマクロ化



# V. ビジネス環境の変化への対応

## 東海東京証券の収益力の強化 生産性革命

### 東海東京証券 × エース証券 統合効果

#### 負ののれんと統合費用

実態の負ののれん	58億円
統合費用（5年間）	15～20億円
<b>統合に伴う財務効果</b>	<b>38～43億円</b>

#### 年間統合効果

システム関連	3～4億円
不動産関連	2～2.5億円
人件費・事務費	5～5.5億円
<b>ネット統合効果</b>	<b>10～12億円</b>

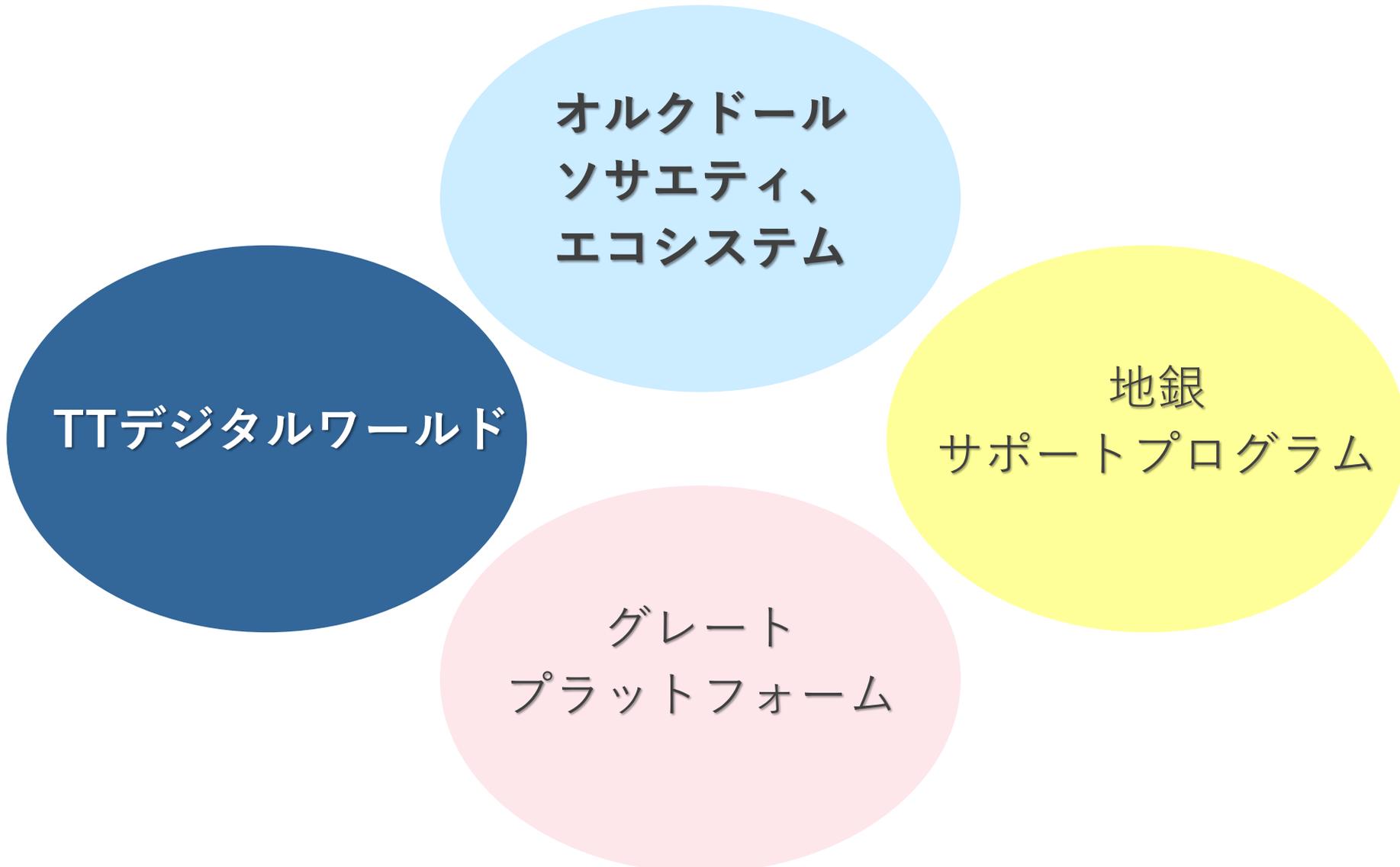
---

## VI. 4つの未来戦略

# VI. 4つの未来戦略

## 新しいビジネスモデルの創生

---



TTデジタルワールド

オルクドール  
ソサエティ、  
エコシステム

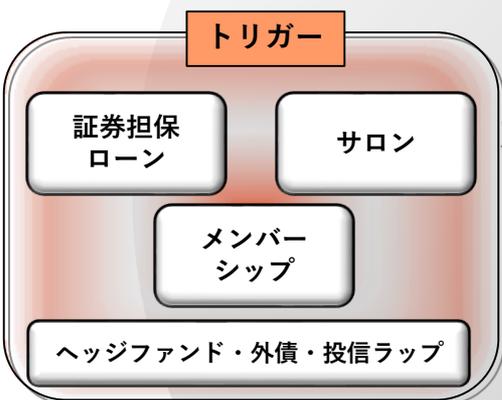
地銀  
サポートプログラム

グレート  
プラットフォーム

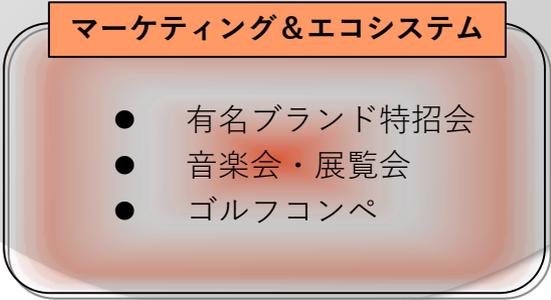
# VI. 4つの未来戦略

## 新しいビジネスモデルの創生 オルクドールソサエティ、エコシステム

### オルクドールソサエティ



**オルクドール  
ソサエティ**



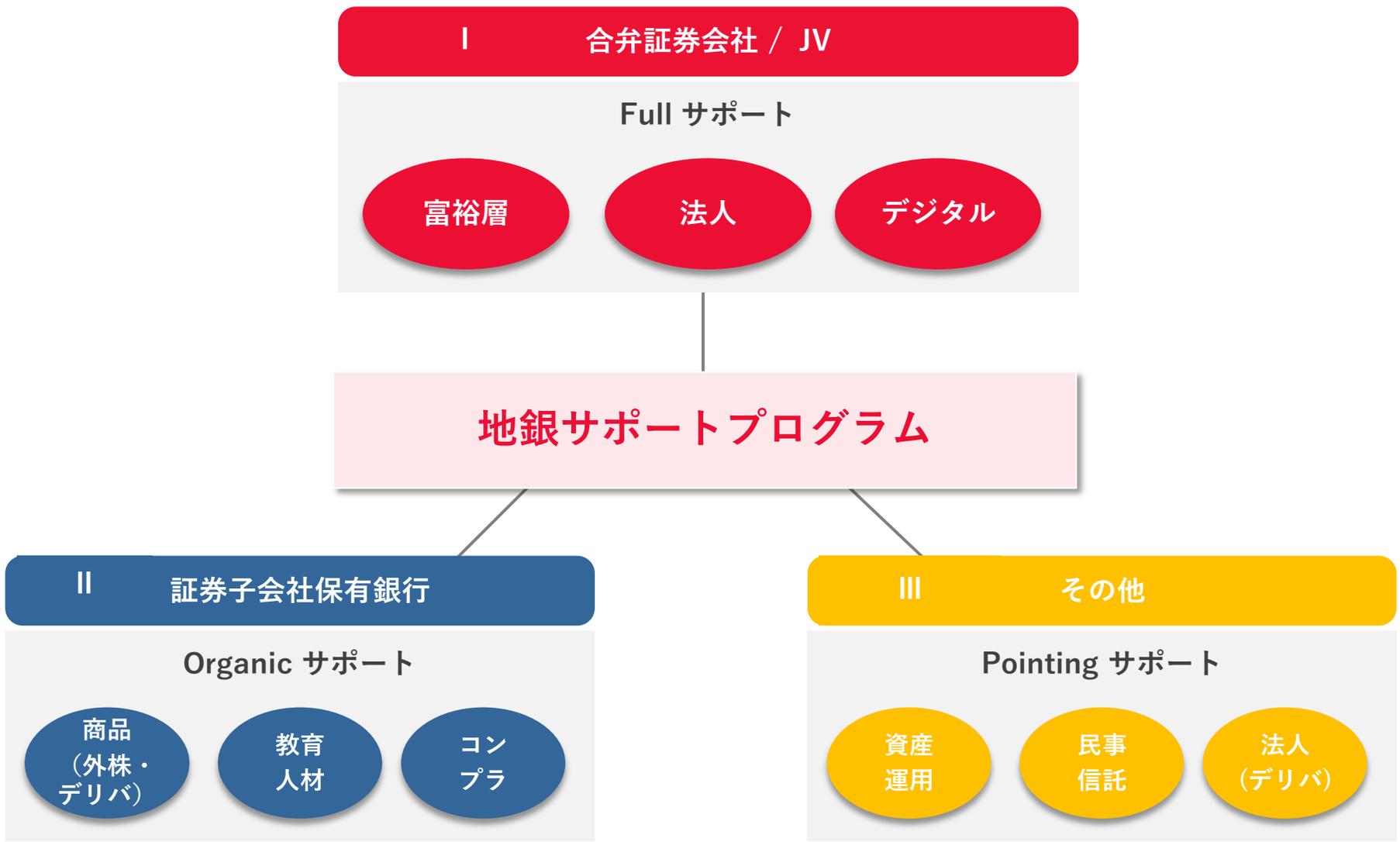
上【絵画展  
『ターナーとフランス近代絵画展』】

下【オルクドールピッチ(東京)】



# VI. 4つの未来戦略

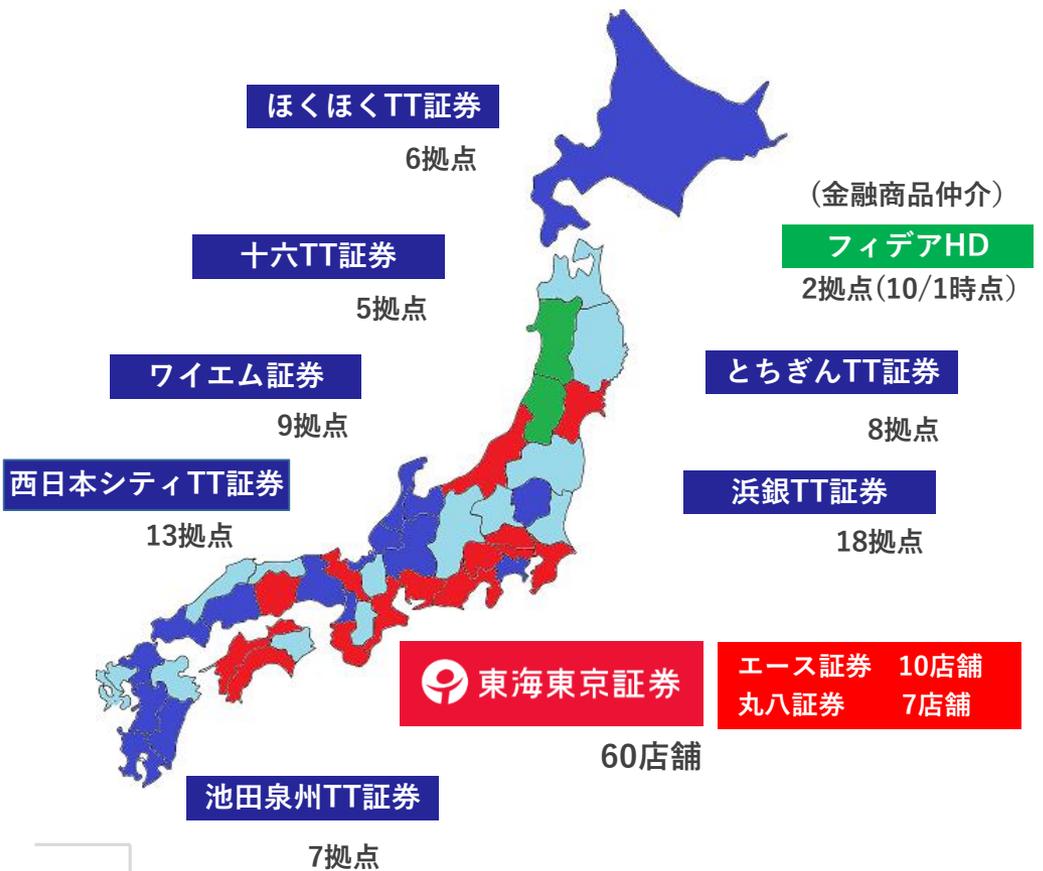
## 新しいビジネスモデルの創生 地銀サポートプログラム



# VI. 4つの未来戦略

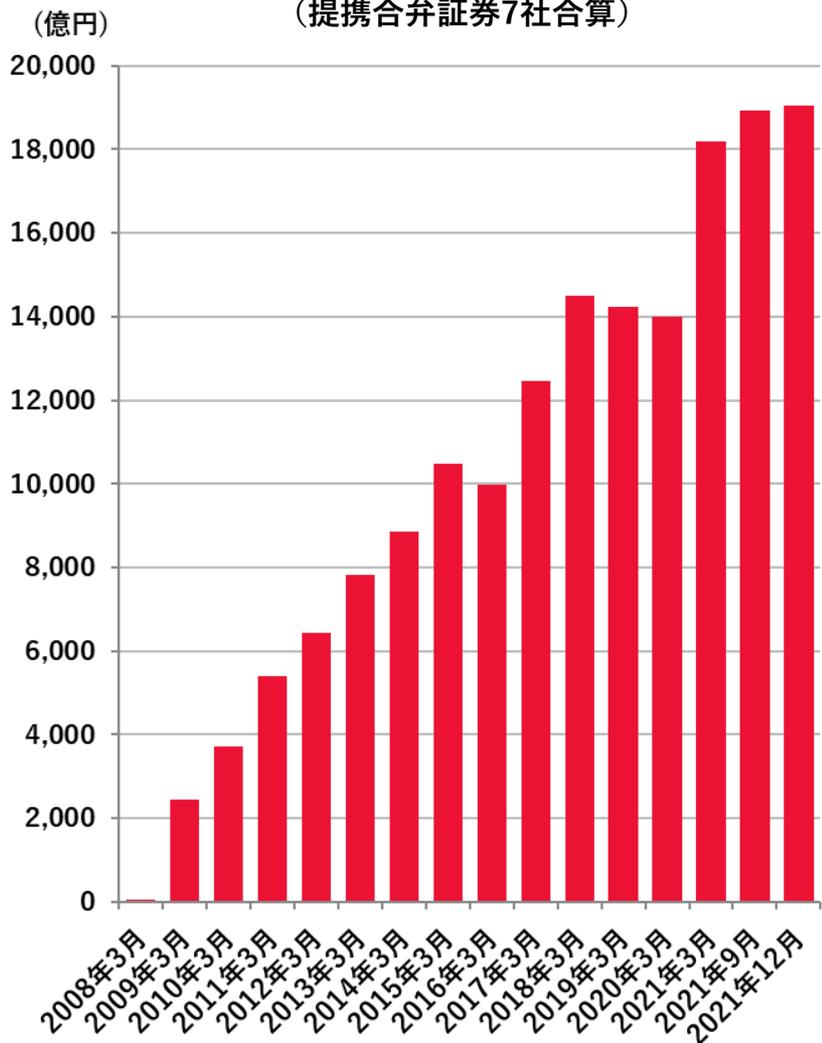
## 新しいビジネスモデルの創生 地銀サポートプログラム

### 地方銀行との提携合併証券 (JV)



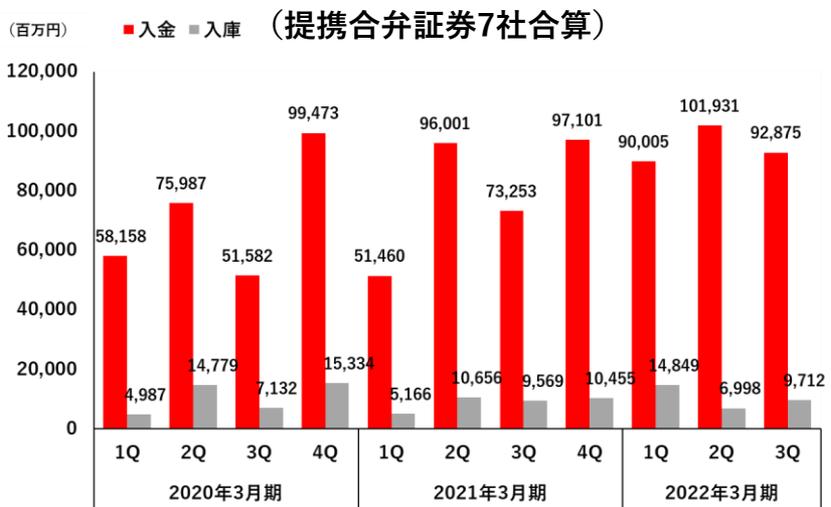
拠点数：2021年12月末現在

預かり資産推移  
(提携合併証券7社合算)

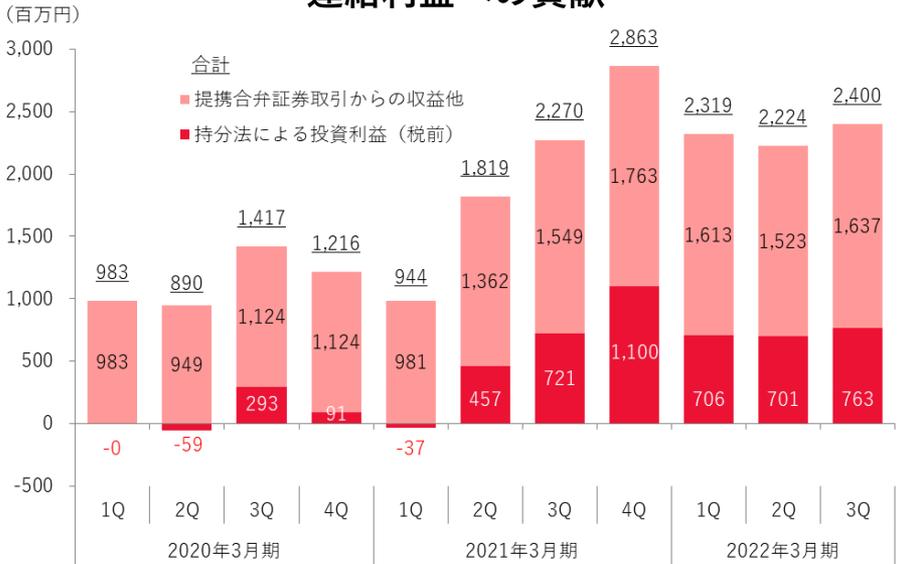


# VI. 4つの未来戦略 提携合弁証券の拡大

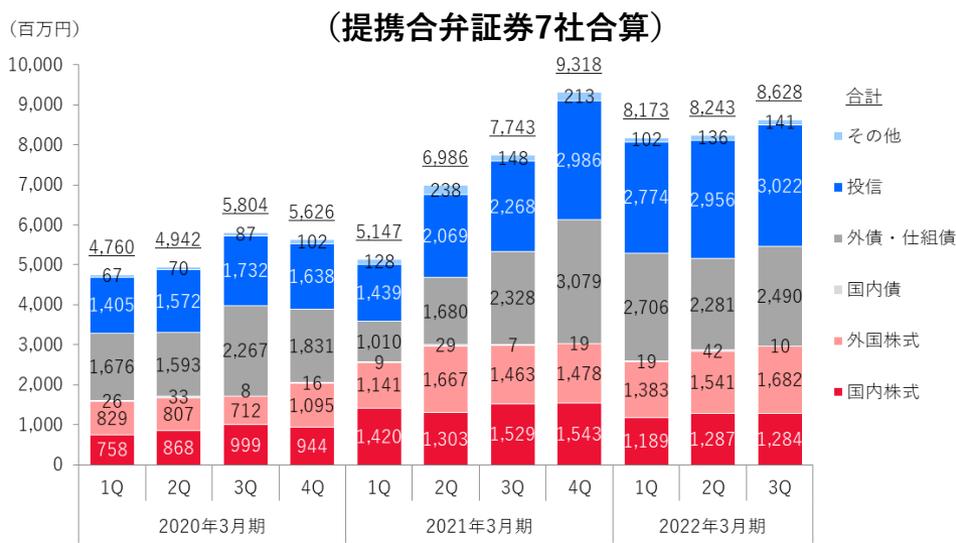
## 入金・入庫推移



## 連結利益への貢献



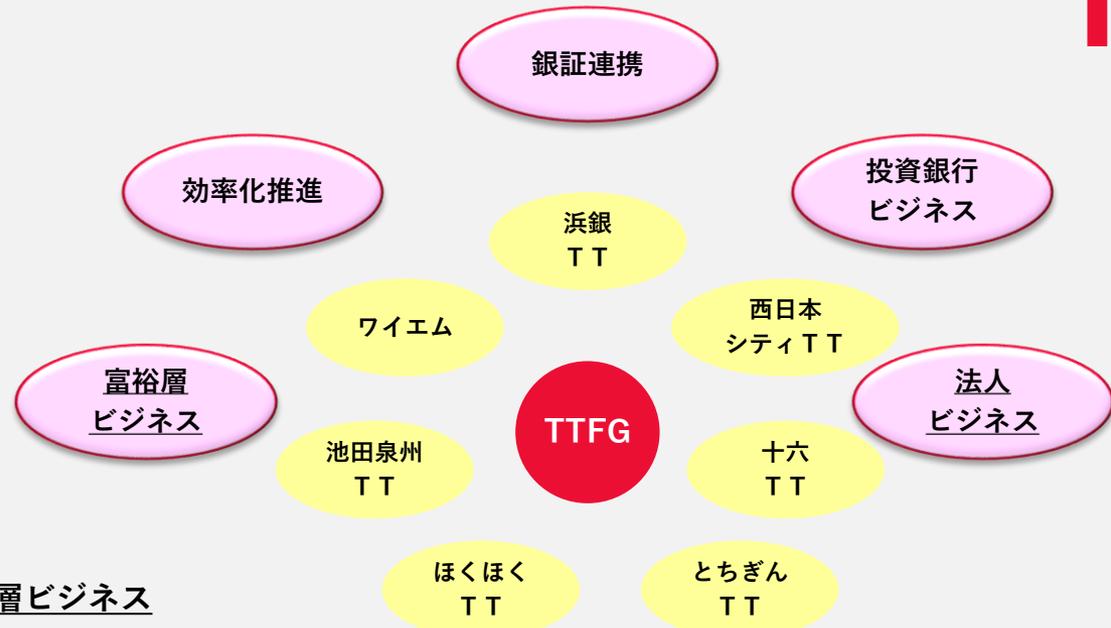
## 商品別収益推移



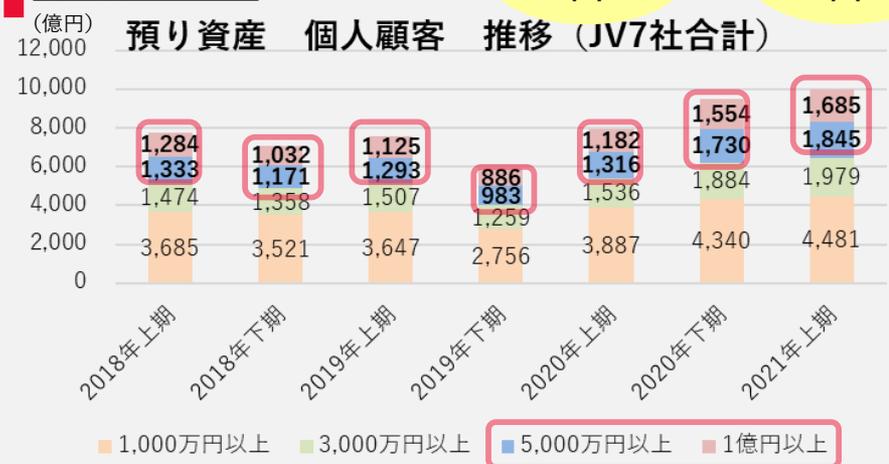
# VI. 4つの未来戦略

## 地銀サポートプログラム「Iグループ」

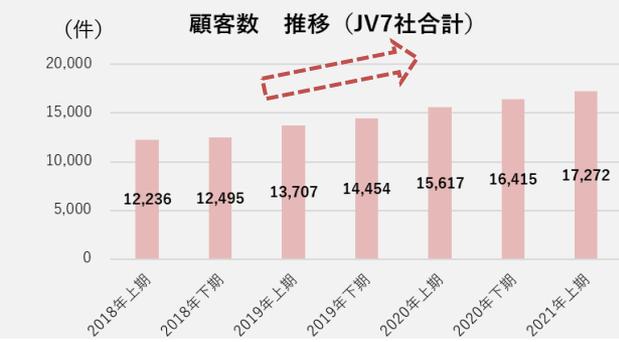
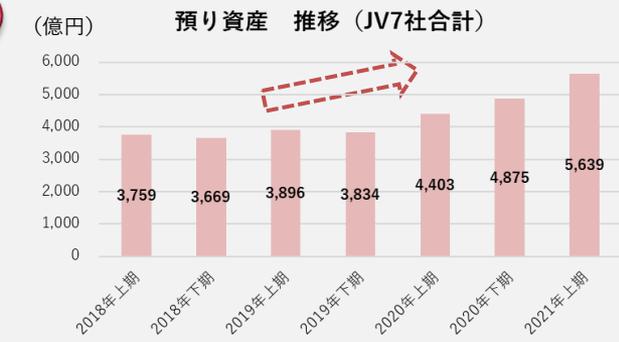
### Iグループ～ JV Group ～



#### 富裕層ビジネス

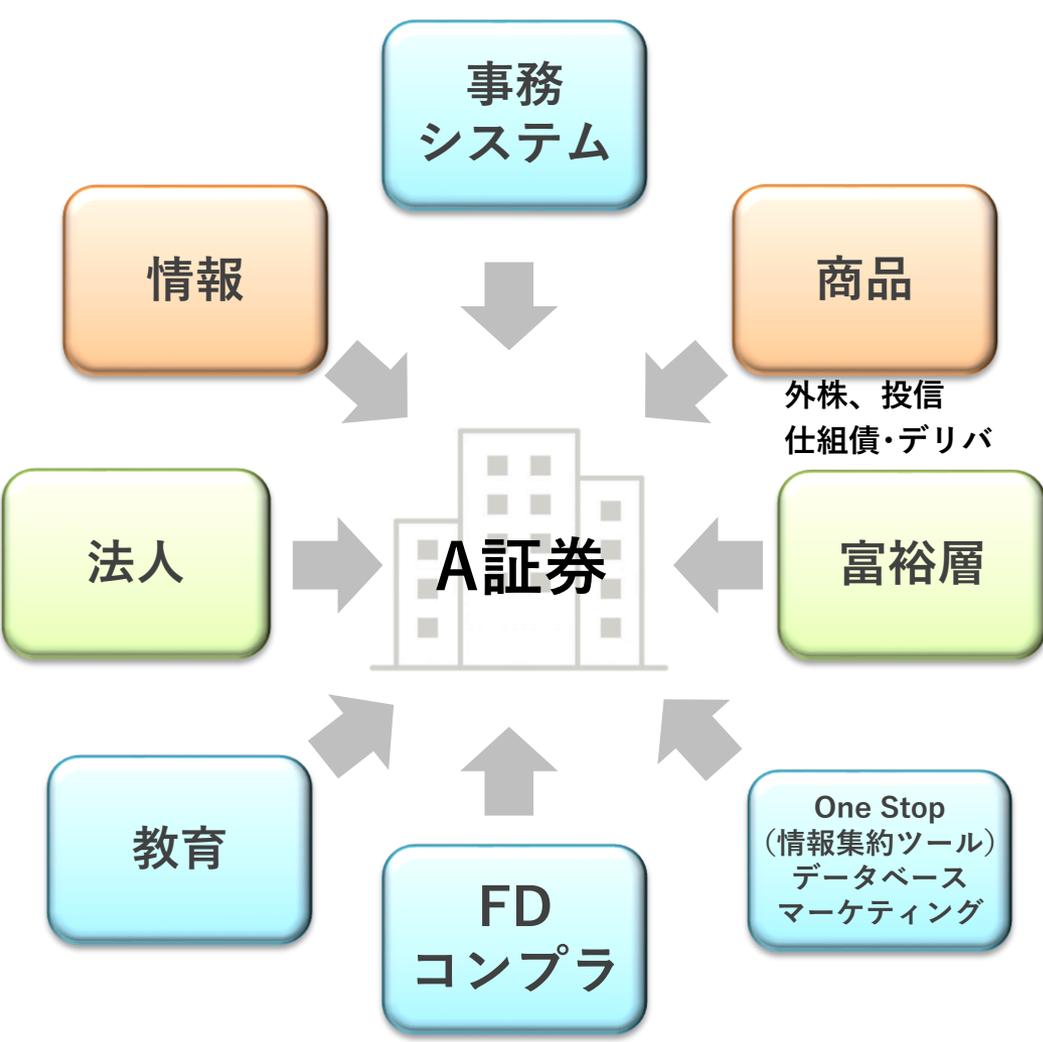


#### 法人ビジネス



# VI. 4つの未来戦略

## 地銀サポートプログラムー「IIグループ」



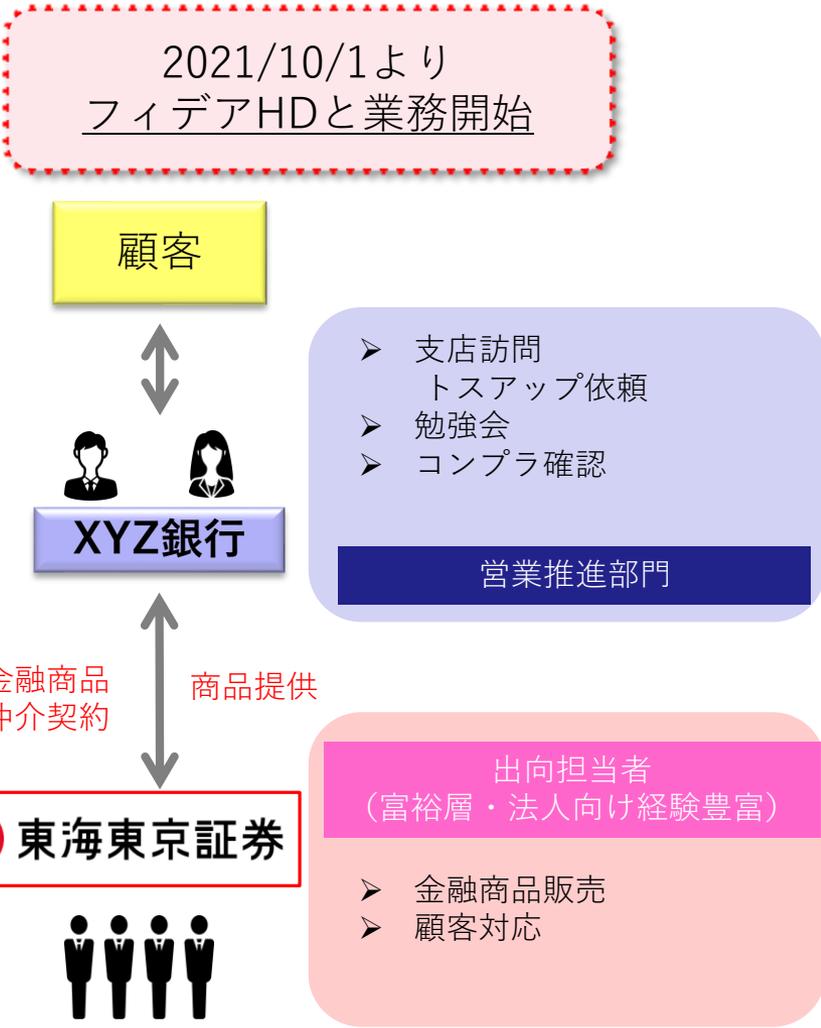
### 注力分野



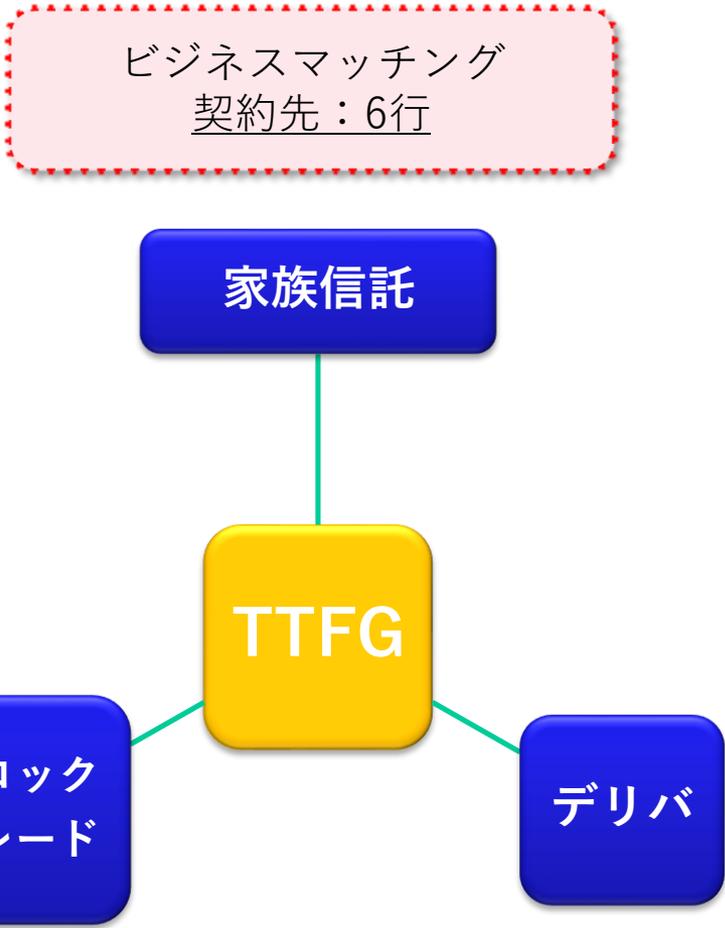
# VI. 4つの未来戦略

## 地銀サポートプログラム「IIIグループ」

### 金融商品仲介スキーム

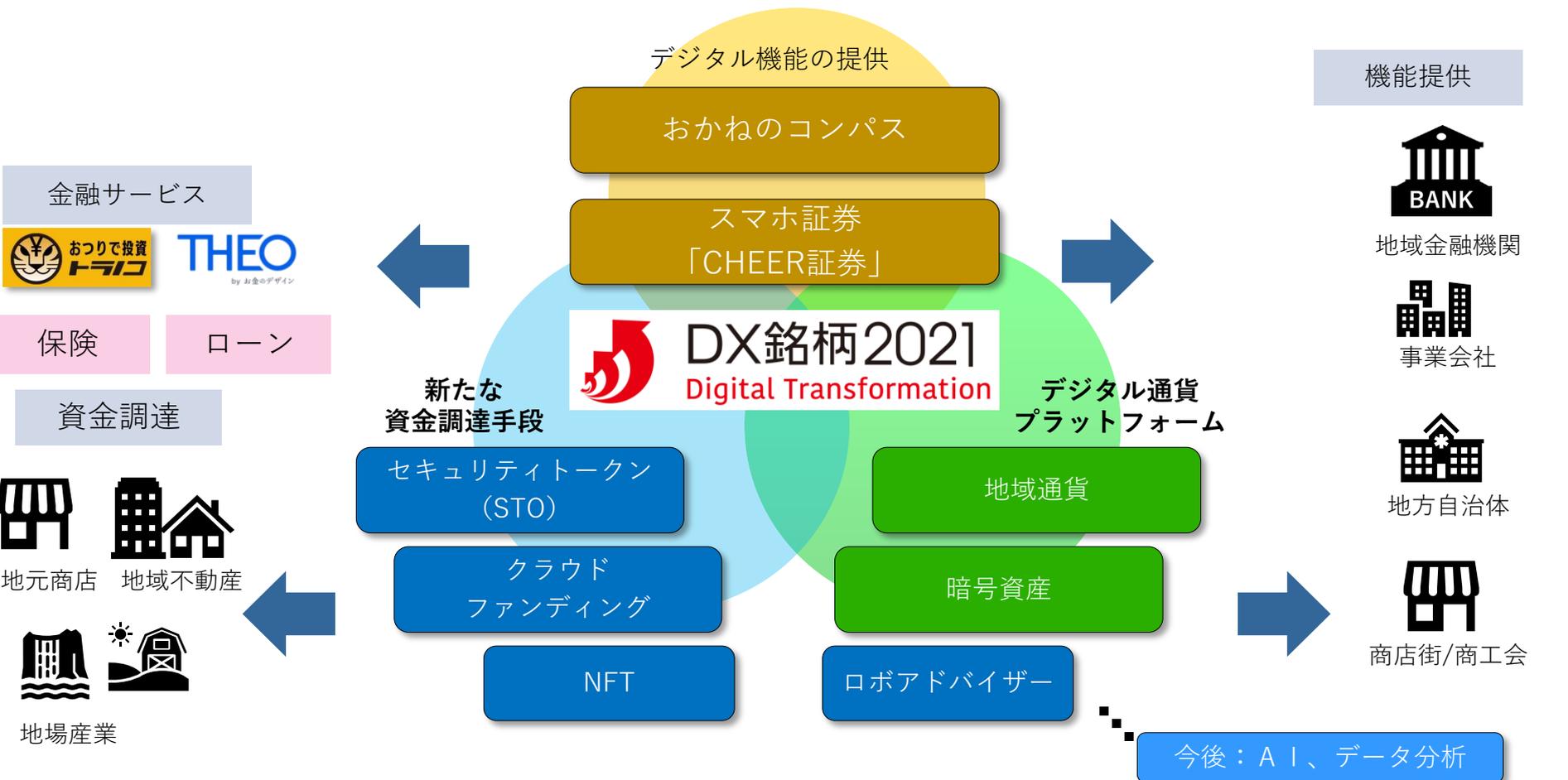
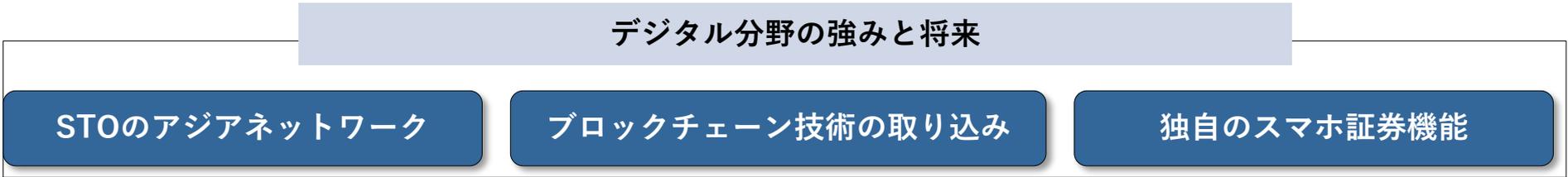


### 一般提携



# VI. 4つの未来戦略

## TTデジタルワールド ～全体像～



# VI. 4つの未来戦略

## TTデジタルワールド ～実装ステージへ～

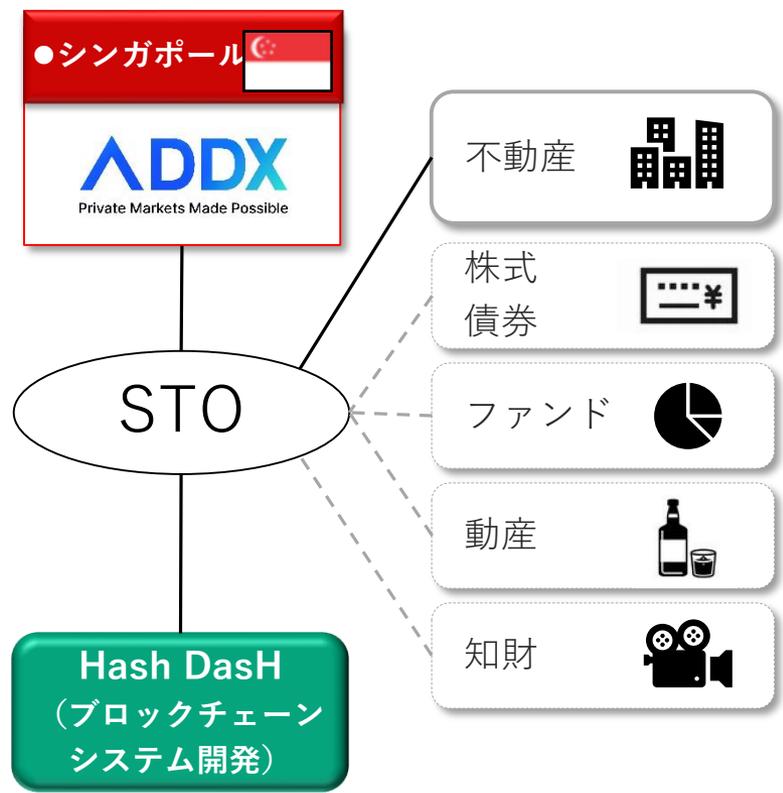
### 新たな取引の提供

スマホ専門証券の開業



Ph1.0 2022.3	Ph1.5 2022.4	Ph2.0以降 2022.7～
✓ ワンコイン (500円) 投資 ✓ 24時間/365日取引可能	✓ 使いやすいUI/UX ✓ 簡単口座開設	
• 米国株式	• 日本株式 • 投資信託	• ポイント運用 • ロボアド • セキュリティトークン etc

セキュリティトークン



# VI. 4つの未来戦略

## TTデジタルワールド ～実装ステージへ～

### ビジネスシナジー：TTデジタル・プラットフォーム

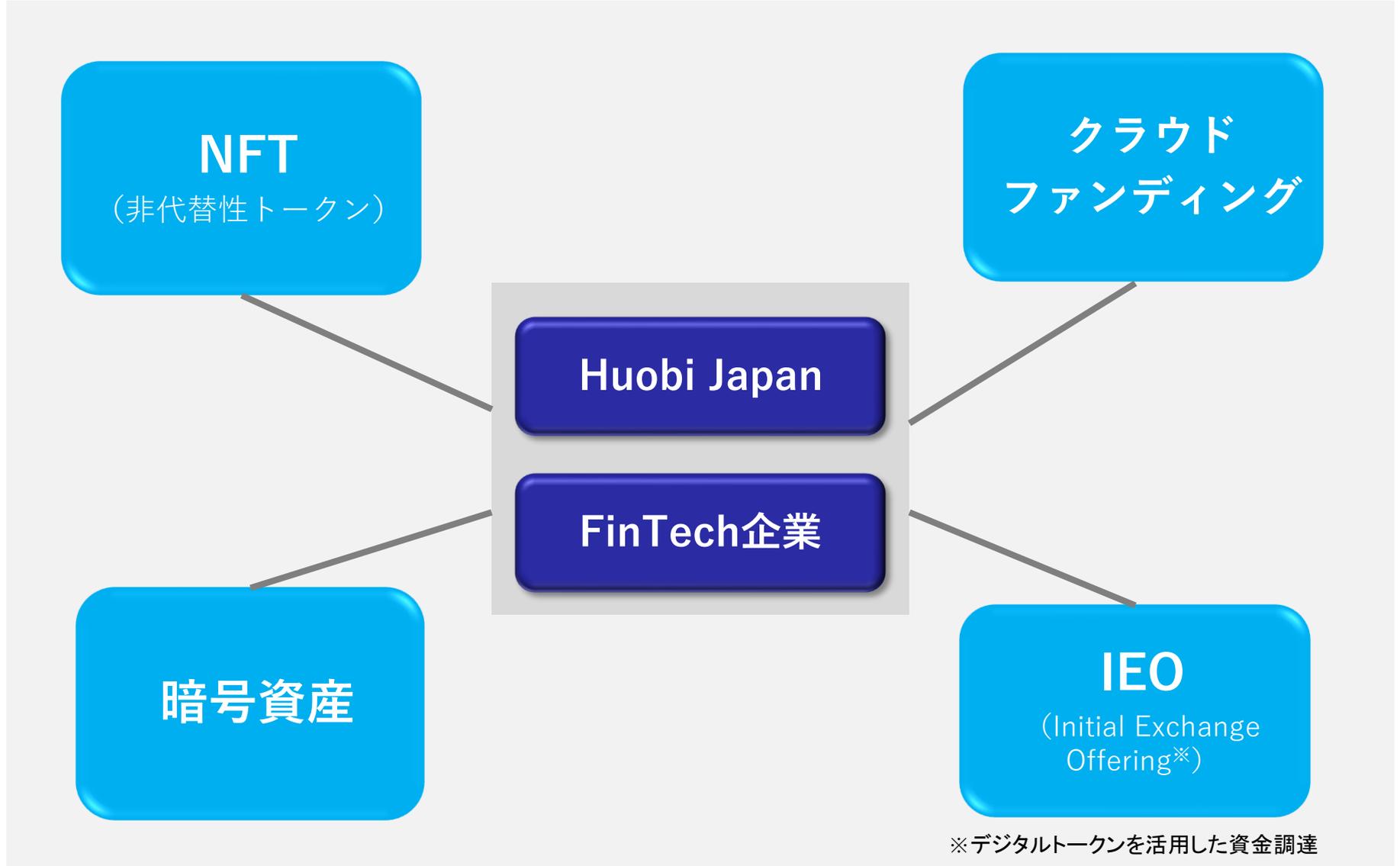


- 家計簿
- 資産管理アグリゲーション
- ライフプランニング
- 保険・年金管理
- おつり投資
- ロボアドバイザー

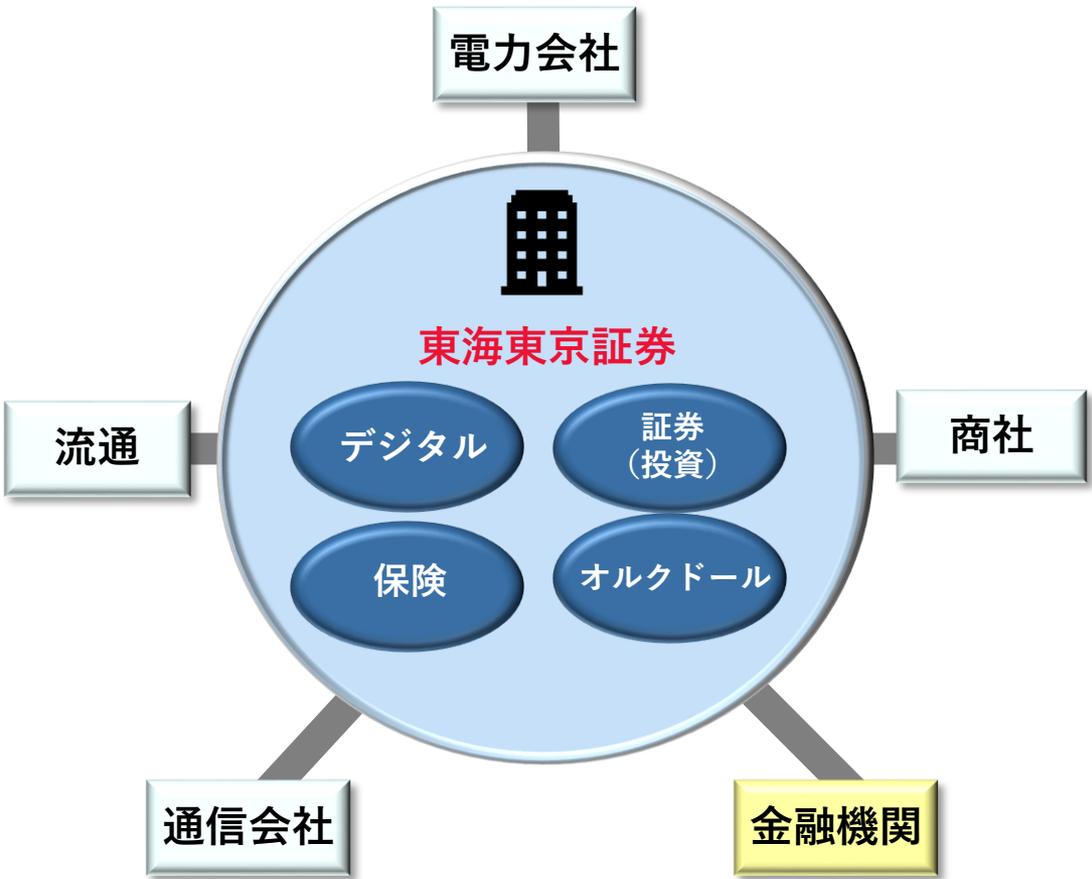
- プレミアム付商品券
- デジタル納税
- デジタルID・ID連携
- デジタル通貨
- 地域通貨
- 個人間送金
- 企業間決済
- デジタル給与

# VI. 4つの未来戦略

## TTデジタルワールド ～実装ステージへ～

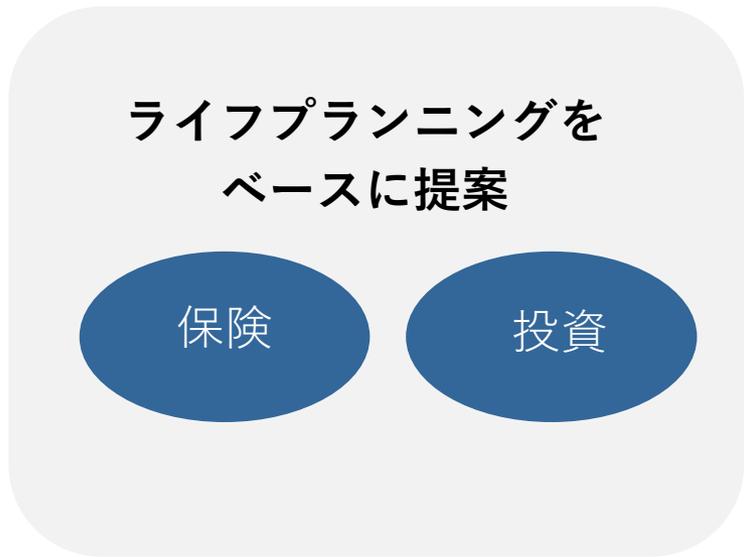


# VI. 4つの未来戦略 グレートプラットフォーム



## 実証モデル

電力 + 商社 + 東海東京 F G

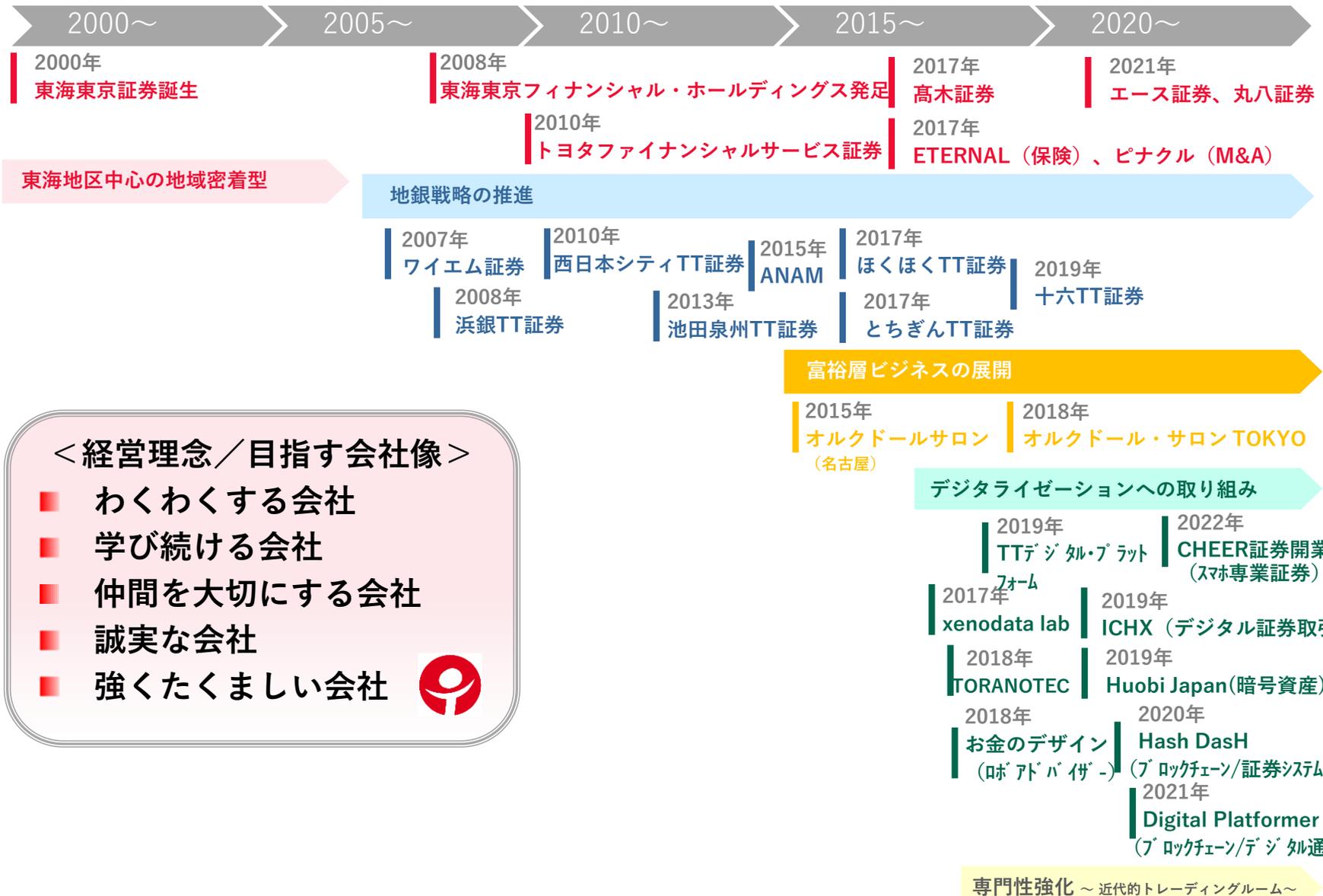


---

## VII. 当社グループの変遷

# VII. 当社グループの変遷

## 時代の先端を行くイノベーションの歴史



---

## VIII. 経営計画「New Age's Flag Bearer5 ～新時代の旗手」を目指して

# VIII. 経営計画「New Age's Flag Bearer5～新時代の旗手」を目指して

## 更なる経営基盤の強化と成長

独自の  
リテール戦略

人間性

組織

専門性

防衛

ライン



**New Age's, Flag Bearer5**  
～新時代の旗手～

市場部門  
投資銀行

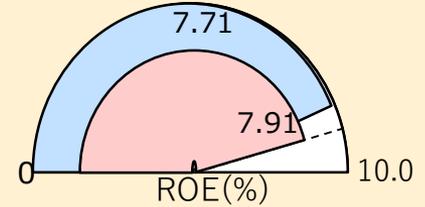
グレート  
プラットフォーム

生産性革命

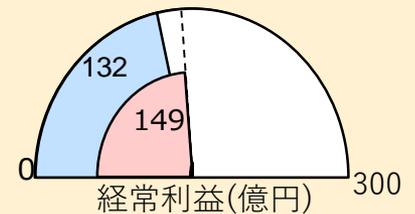
## 最終KGI

ROE	10%
経常利益	300億円
グループ 預かり資産	10兆円

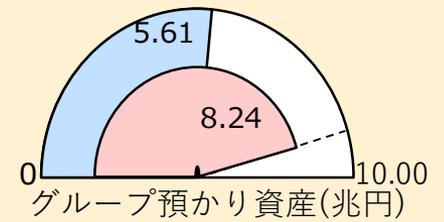
KGI □ 前中計終了時  
□ 21年度3Q終了時



※21年度1Q時の負ののれんを差し引き、年換算の後、負ののれん分を足し戻して換算



※(21年度3Q×4/3)



# VIII. 経営計画「New Age's Flag Bearer5～新時代の旗手」を目指して 証券会社各社の業績等の推移

	純営業収益 (単位: 10億円)		経常利益 (単位: 10億円)		預かり資産 (単位: 兆円)	
	2017/3期	2022/3期 第3Q(累計) (伸び率注4)	2017/3期	2022/3期 第3Q(累計) (伸び率注4)	2017/3期	2022/3期 第3Q(期末) (伸び率)
東海東京フィナンシャル・ホールディングス 注1	73	70 (29%)	14	11 (14%)	5	8 (47%)
野村ホールディングス 注2、3	1,303	885 (▲8%)	280	96 (▲44%)	107	125 (16%)
大和証券グループ本社 注2	426	337 (6%)	109	78 (▲1%)	53	75 (41%)
みずほ証券	365	264 (▲5%)	75	63 (8%)	38	53 (39%)
岡三証券グループ	79	55 (▲5%)	15	6 (▲45%)	4	6 (54%)

注1：純営業収益はJV7社を持分比率に応じ疑似連結。経常利益はJVの持分法収益を税引前に調整

注2：AMビジネス除く

注3：米国会計基準のため経常利益は税前利益

注4：2017/3期からの伸び率は、2022/3期第3Qの実績値を年換算し算出 47

---

## IX. SDGsへの取り組み

# IX. SDGsへの取り組み

気候変動に関する国際的な情報開示の枠組みである気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-related Financial Disclosures = TCFD) の提言に沿った開示を予定しております。

### エネルギー・気候

- ・グリーンボンド発行支援者
- ・社会貢献型債券の取扱い (グリーンボンド、ウォーターボンド)
- ・高効率照明、高効率空調への切替
- ・低燃費車への入替
- ・グリーン電力の活用

### 当社グループの重要課題

1. 健康  

2. 教育と働き方  

3. 金融イノベーション  

4. 地域経済  

5. 環境保全  


### 地域

- ・有力地方銀行との連携強化による地方創生
- ・災害支援活動
- ・スポーツ支援
- ・文化、芸術活動への協賛
- ・東海東京財団を通じた祭礼行事伝承助成
- ・地域産業の活性化を支援「中部オープンイノベーションカレッジ」

# IX. SDGsへの取り組み

## 教育・研修制度一覧

国内MBA・海外MBA派遣

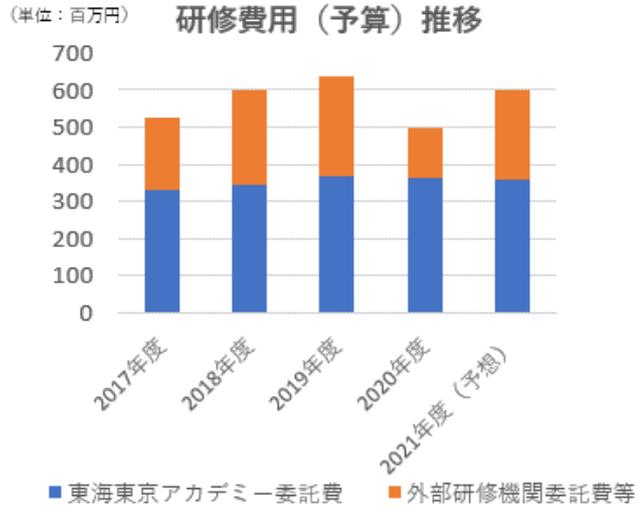
選抜研修  
(リーダー育成研修)

若手社員研修

部門別研修・勉強会  
(部門ごとに実施)

キャリアデザイン研修  
(全社員対象)

### 教育・研修費の推移



社内公募  
(入社3年目以上応募可)

Humanity Enhancement Program (HEP)

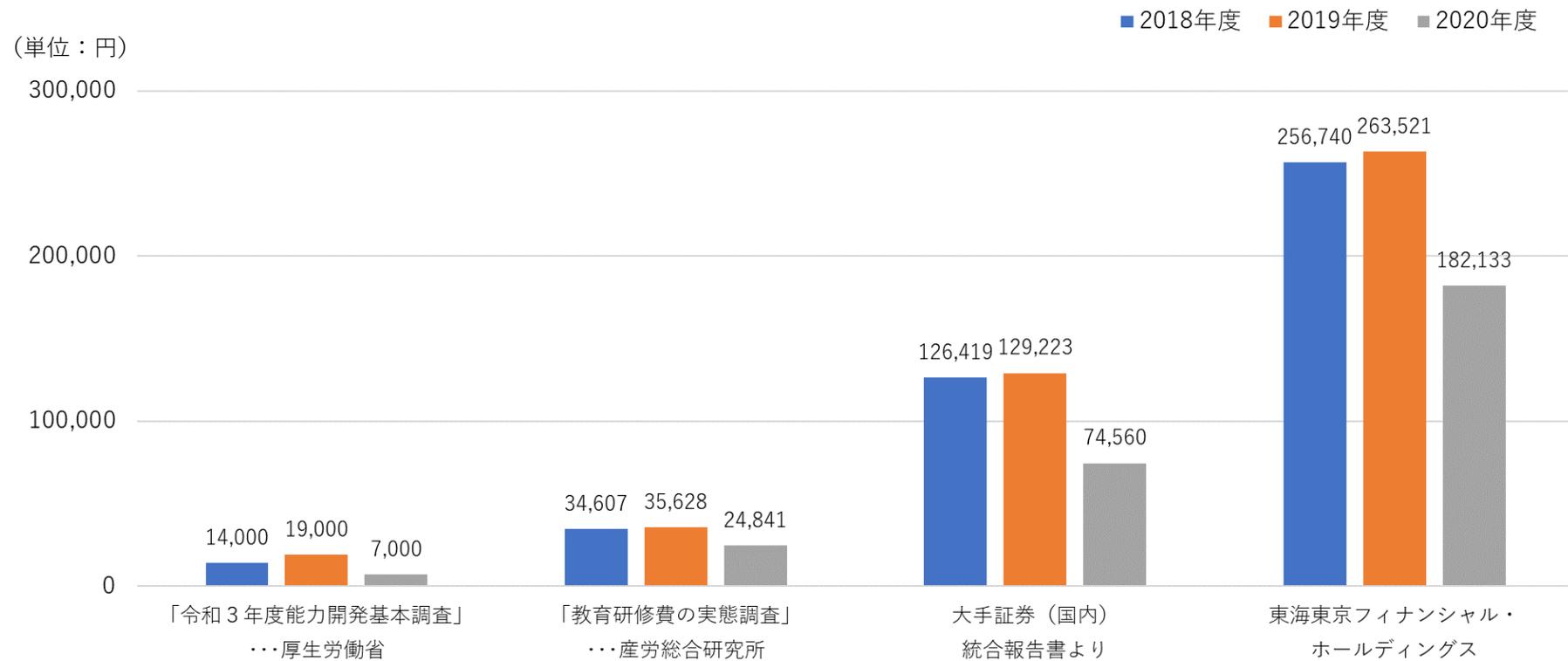
D&I関連施策  
(21世紀塾派遣等)

カフェテリア研修 資格取得  
支援 (共通)

# IX. SDGsへの取り組み

## 教育・研修投資推移

従業員一人当たり教育研修費用



# IX. SDGsへの取り組み

## 海外・国内MBA等派遣実績

### 海外MBA等派遣実績

#	派遣先	修了年度
1	ハルト大学MBA	2015
2	コロンビア大学*	2015
3	ロチェスター大学MBA	2016
4	コロンビア大学*	2015
5	コロンビア大学*	2016
6	カーネギーメロン大学MBA	2018
7	コロンビア大学*	2017
8	ウィリアム&メアリー大学MBA	2019
9	クレアモント大学MBA	2020
10	マンチェスターMBA	2022
11	HEC Paris MBA	2022

\*コロンビア大学日本経済経営研究所 (CJEB) 派遣実績



現在、2名を海外MBAに派遣。  
コロナ禍のためオンライン中心に  
履修中

### 海外現地法人/トレーニー実績

海外現地法人 (2008年～)	人数
東海東京証券ヨーロッパ	12
東海東京証券香港	12
東海東京証券アメリカ	9
東海東京シンガポール	8
香港 (MCP) →シンガポール	1
東海東京証券香港→国泰君安	1
総計	43

トレーニー先企業 (2008年～)	人数
キャブラ (英)	7
ケナンガ (マレーシア)	2
ファーストメトロ (米)	1
国泰君安 (中)	2
総計	12

### 国内MBA派遣実績

国内MBA派遣先 (2006年～)	人数
早稲田大学MBA (夜間)	29
一橋大学MBA (夜間)	2
慶應義塾大学MBA (土日)	1
首都大学東京MBA (全日)	1
早稲田大学MBA (全日)	1
総計	34



---

## X. 株主還元

# X. 株主還元

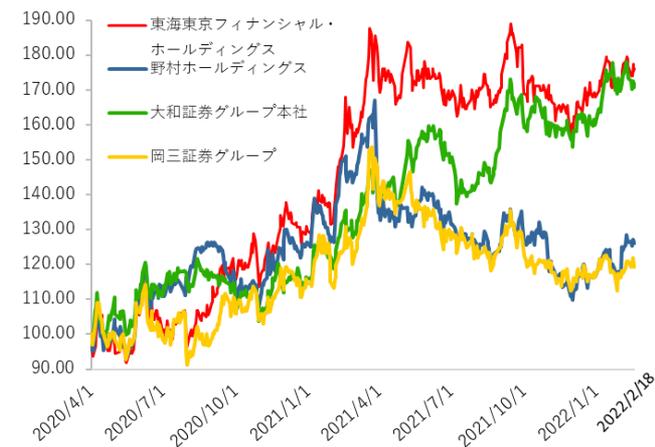
## 当社株価の推移と配当実績

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株価



証券各社株価推移

(2020年4月1日終値 = 100で算出)



	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間
1株当たり配当金 (円)	12.00	4.00	4.00	4.00	8.00	14.00	10.00
配当利回り ※1	3.7%	4.0%	2.7%	3.3%	5.9%	5.4%	4.9%
配当性向 ※2	101.3%	382.8%	156.2%	72.5%	73.6%	60.1%	60.4% ※3

※1 配当利回りは各期末の株価に基づき算出、半期毎の配当金を年率換算して表記。 ※2 期末における配当性向は年間の配当金額 (=中間+期末)に対する年間純利益として算出。

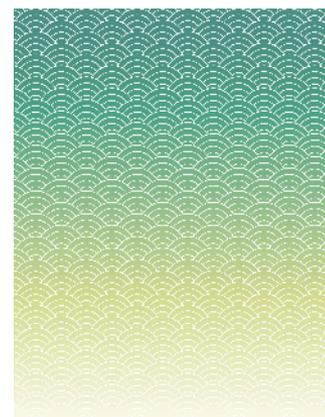
※3 子会社取得に伴う連結会計上の一過性損益である「負ののれん発生益」と「段階取得に係る差損」を除いて算出。

# X. 株主還元 株主優待制度

- 地域の名産品等を掲載したカタログから、保有株数に応じてお好みの商品をお選びいただけます。

保有株式数	優待商品
1,000株以上3,000株未満	2,000円相当の名産品等を一点
3,000株以上5,000株未満	2,000円相当の名産品等を二点
5,000株以上10,000株未満	5,000円相当の名産品等を一点
10,000株以上	5,000円相当の名産品等を二点 (2020年3月期実績)

- 100株以上1,000株未満保有の株主様には、3年以上の継続保有を条件として、一律、500円相当の優待商品クオカード等）を進呈。



株主様  
ご優待品カタログ  
2020年3月期  
1,000～2,999株 / 3,000～9,999株

TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.



株主様  
ご優待品カタログ  
2020年3月期  
5,000～9,999株 / 10,000株以上

TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.



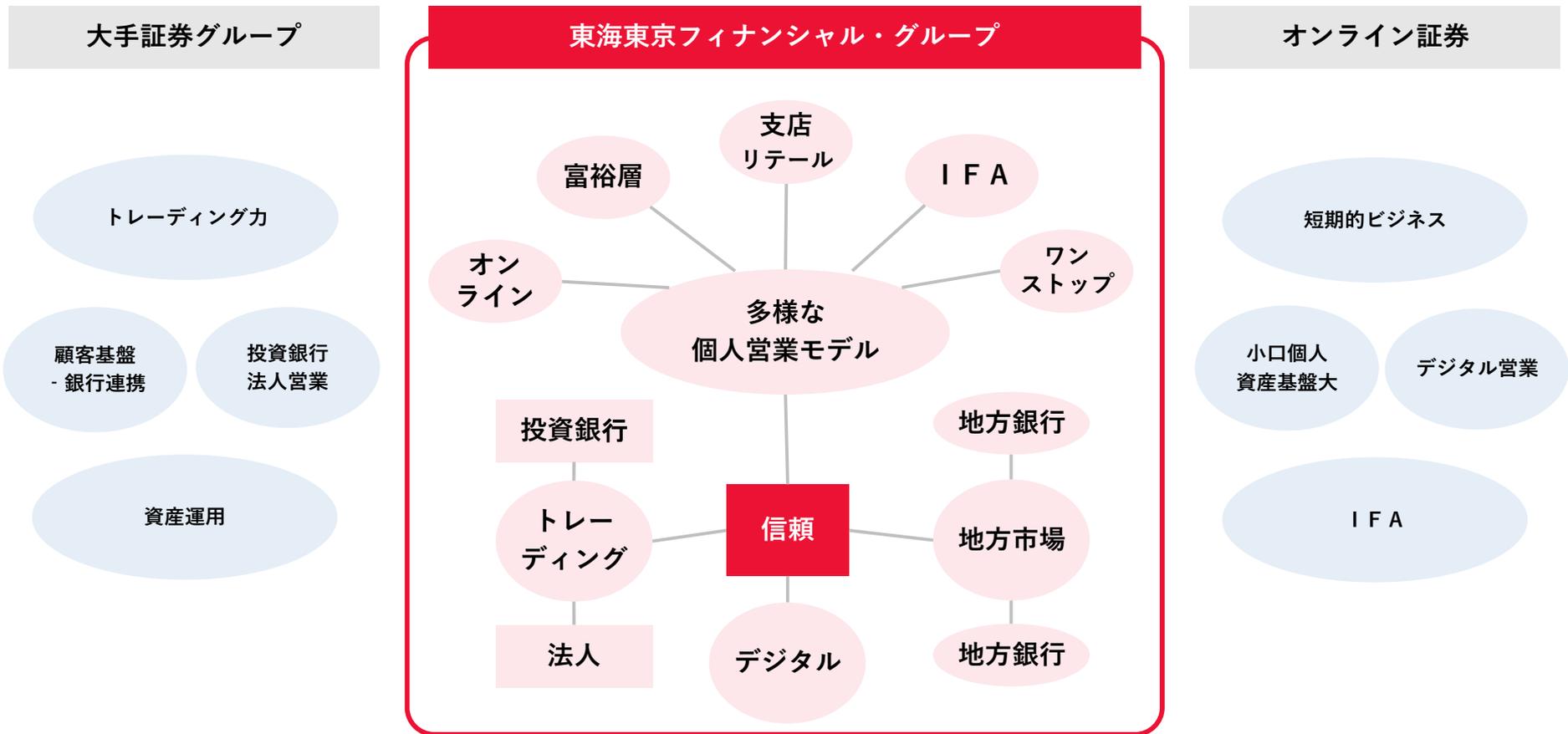
(名産品などのイメージ)

---

# XI. 新中期経営計画へ向かって

# XI. 新中期経営計画へ向かって

## 当社グループの特徴

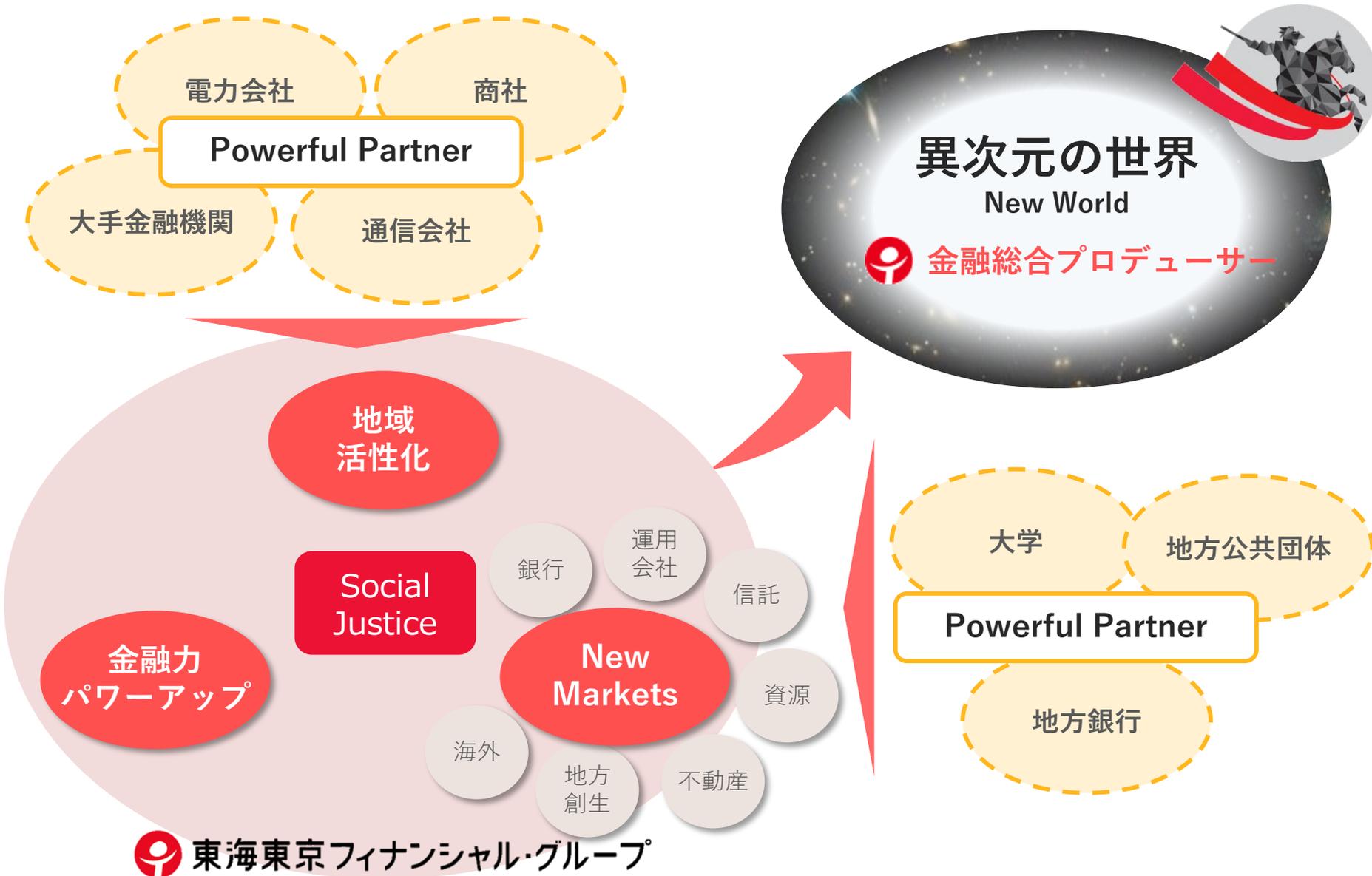


- 課題
- ・ 個人営業部門の伸び悩み
  - ・ デジタルビジネスの出遅れ

- 課題
- ・ 営業基盤拡大の余地
  - ・ 銀行機能の欠如
  - ・ 資本/資金調達の充実

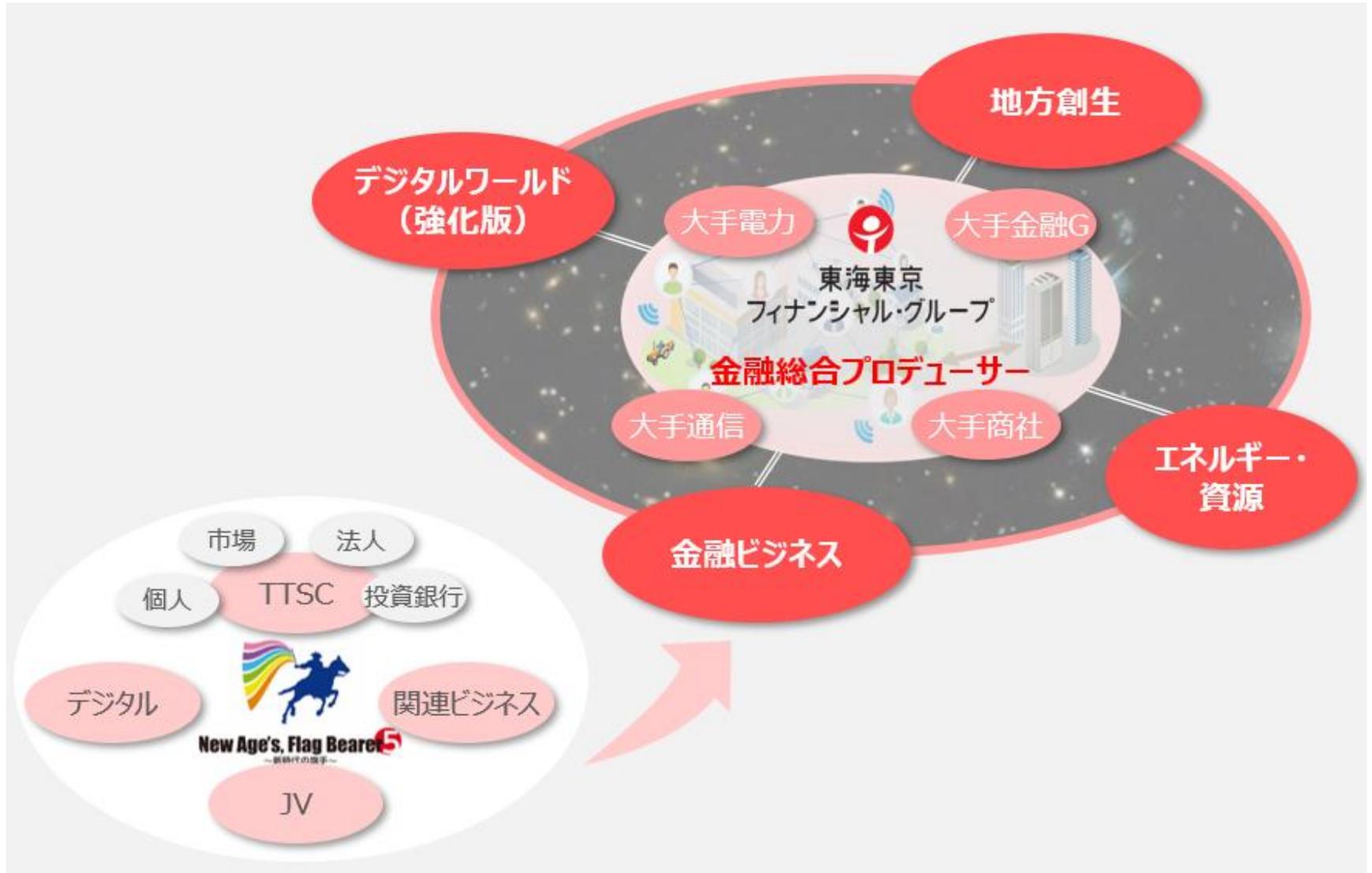
- 課題
- ・ トレーディング力の弱さ
  - ・ 小口個人資産営業の低収益力
  - ・ 利益成長の伸び悩み

# XI. 新中期経営計画へ向かって 中期経営計画における戦略マップ



 東海東京フィナンシャル・グループ

# XI. 新中期経営計画へ向かって 異次元の世界へ



# 問合せ先

---

東海東京フィナンシャル・ホールディングス  
広報・IR部

Tel: 03-3517-8618 Fax: 03-3517-8314

E-mail: [fh\\_ir@tokaitokyo-fh.jp](mailto:fh_ir@tokaitokyo-fh.jp)

本資料は、最新の業績等に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。